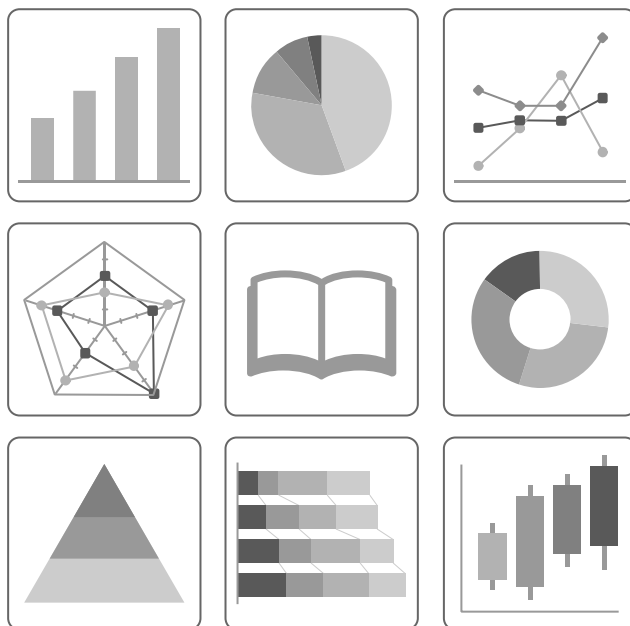
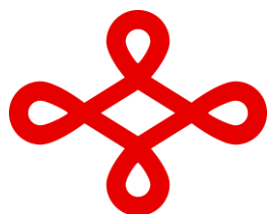


西尾市

生涯学習に関するアンケート調査 結果報告書【無作為抽出市民対象】



令和4年3月
西尾市教育委員会

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
7 標本誤差について	2
II 調査結果	3
1 あなた自身のことについて	3
2 生涯学習の現状について	5
3 今後の生涯学習について	17
4 生涯学習施設について	23
5 今後の西尾市の生涯学習に期待することについて	32
6 自由記述の意見について【無作為抽出市民対象】	34

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では平成 24 年度に平成 25 年度から令和 4 年度までを計画期間とした「西尾市生涯学習推進計画」を策定しました。

それに基づき市では、生涯学習に対する市民ニーズの多様化や社会環境の変化に対応していくために、そして市民一人ひとりが「いつでも、どこでも、だれでも、どんなことでも」学ぶことができる喜びを感じ、「ひとづくり」、「まちづくり」、「地域文化の振興」等について計画的かつ総合的に進めるためさまざまな施策を進めてきています。

本業務は、来年度で現行計画が計画期間を終えるにあたり、「第 2 次西尾市生涯学習推進計画」の策定の基礎資料とする調査を実施したものです。

2 調査対象

西尾市在住の 20 歳以上を 2,000 人無作為抽出

3 調査期間

令和 4 年 1 月 26 日～2 月 14 日


4 調査方法

郵送またはインターネットによる配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000 通	800 通 (内、WEB 回答 186 通)	40.0%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 標本誤差について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。（信頼度 95%）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数（20歳以上の西尾市民（令和4年1月1日現在））

n = 回答者数、P = 回答比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となります。例えば、ある設問の回答者数（n）が800人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が30%であった場合、その回答比率の誤差は±3.17%となり、26.83%～33.17%の範囲にあると考えられます。

回答比率 (P) \ 回答者数 (n)	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
800人	±2.07%	±2.76%	±3.17%	±3.39%	±3.45%

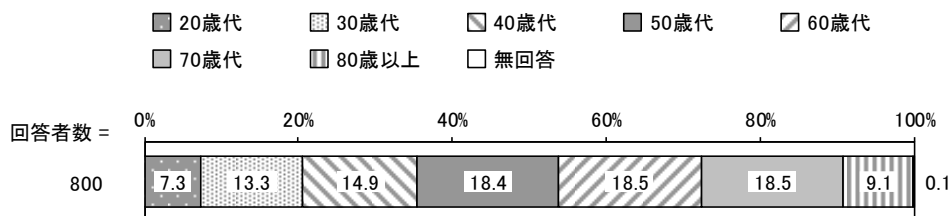
※母集団数：年齢別人口統計表による満20歳以上の人口（令和4年1月1日現在）

II 調査結果

1 あなた自身のことについて

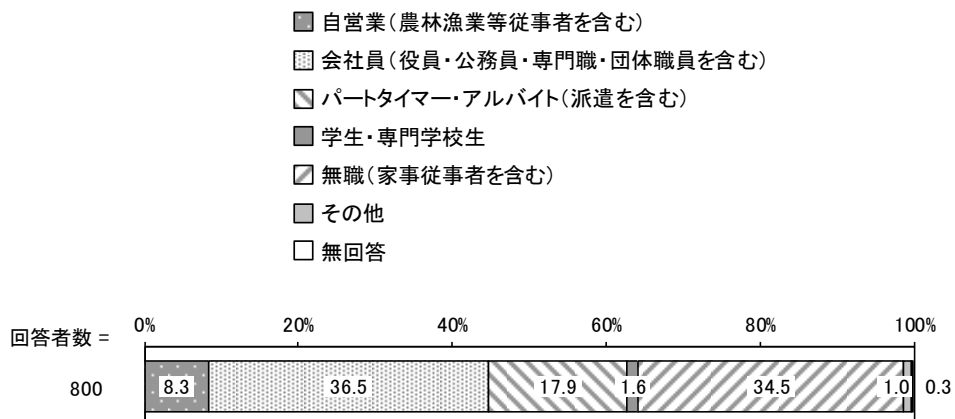
問1 年齢は（令和4年1月1日時点。○は1つ）

「60歳代」、「70歳代」の割合が18.5%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が18.4%となっています。



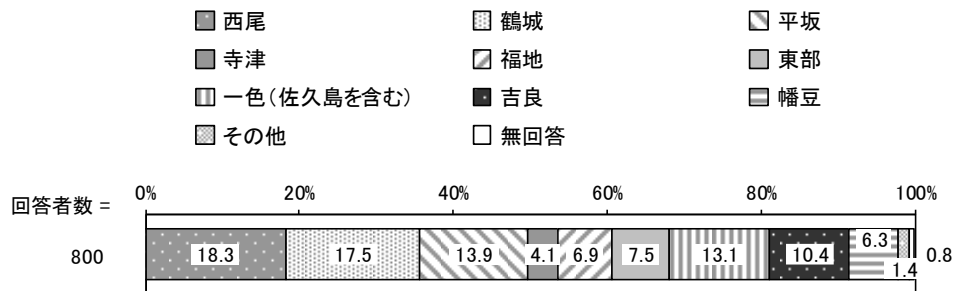
問2 職業は（主たる職業に○を1つ）

「会社員（役員・公務員・専門職・団体職員を含む）」の割合が36.5%と最も高く、次いで「無職（家事従事者を含む）」の割合が17.9%、「パートタイマー・アルバイト（派遣を含む）」の割合が17.9%となっています。



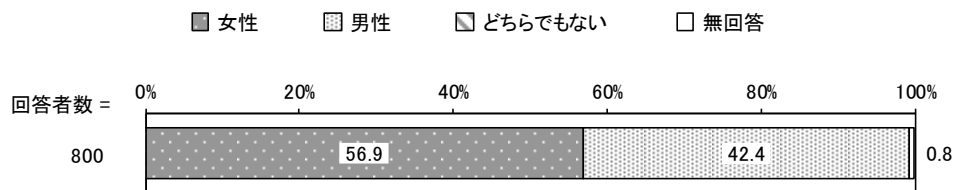
問3 お住まいの中学校校区は（○は1つ）

「西尾」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「鶴城」の割合が 17.5%、「平坂」の割合が 13.9%となっています。



問4 性別は（自認する性でお答えください。回答は任意です）

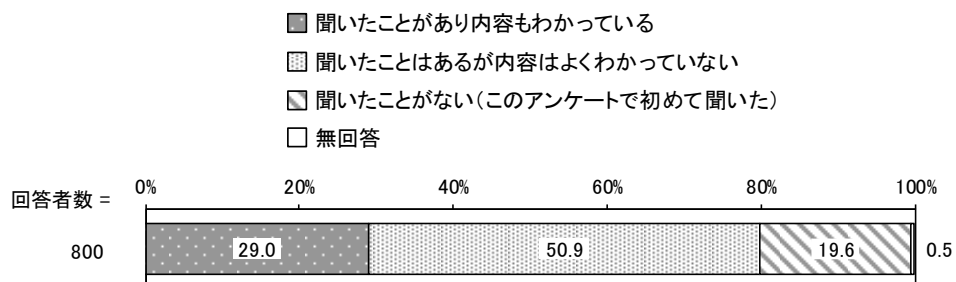
「女性」の割合が 56.9%、「男性」の割合が 42.4%となっています。



2 生涯学習の現状について

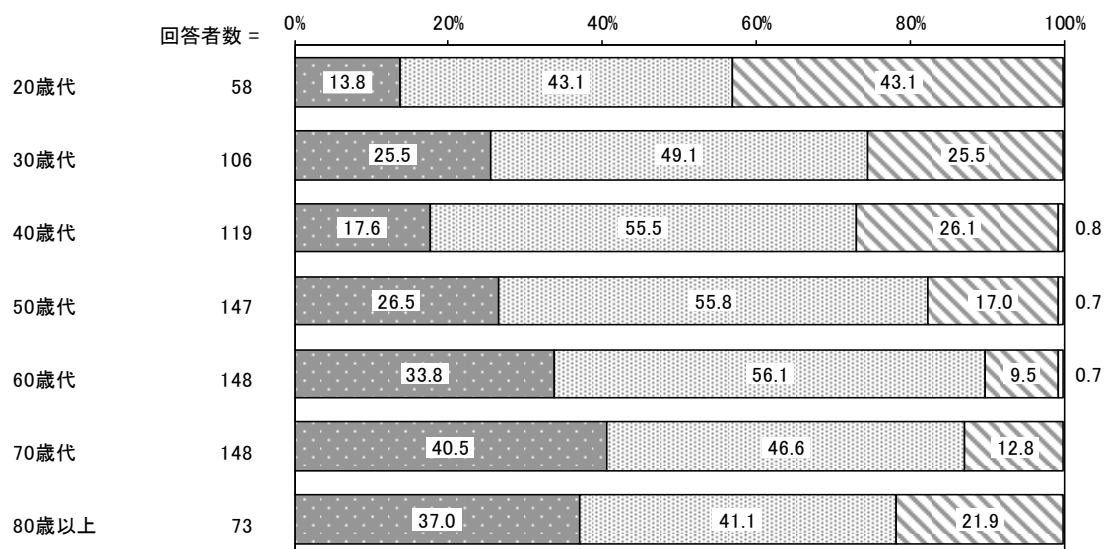
問5 これまでに「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

「聞いたことはあるが内容はよくわかっていない」の割合が **50.9%**と最も高く、次いで「聞いたことがあります内容もわかっている」の割合が **29.0%**、「聞いたことがない(このアンケートで初めて聞いた)」の割合が **19.6%**となっています。



【年代別】

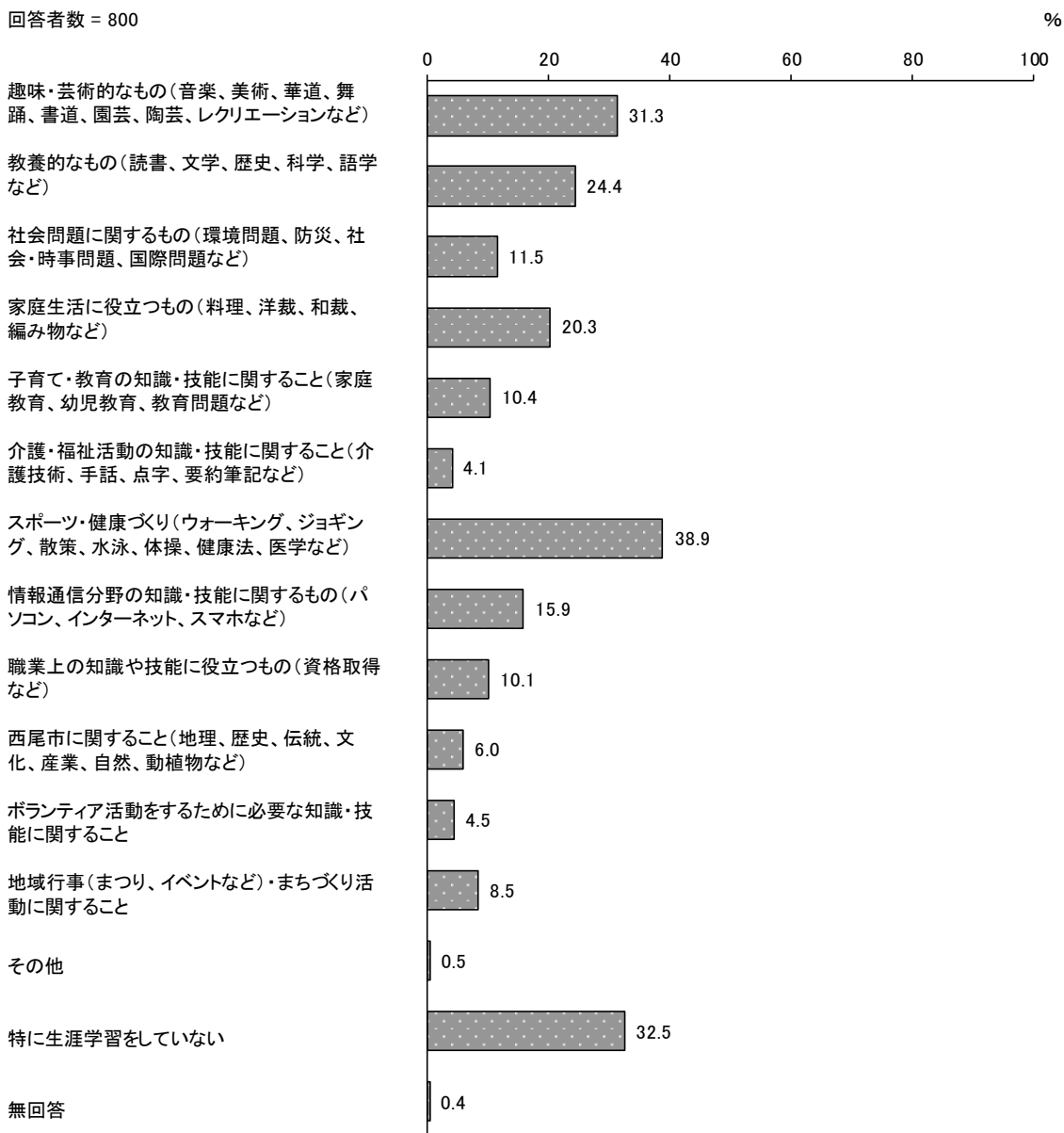
年代別で見ると、他に比べ、**20歳代**で「聞いたことがない(このアンケートで初めて聞いた)」の割合が、**40～60歳代**で「聞いたことはあるが内容はよくわかっていない」の割合が高くなっています。



問6 この3年くらいの間に、どのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)

「**スポーツ・健康づくり**(ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など)」の割合が **38.9%**と最も高く、次いで「**特に生涯学習をしていない**」の割合が **32.5%**、「**趣味・芸術的なもの**(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど)」の割合が **31.3%**となっています。

回答者数 = 800



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）」、「家庭生活に役立つもの（料理、洋裁、和裁、編み物など）」の割合が、30歳代で「子育て・教育の知識・技能に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」の割合が高くなっています。

一方、50歳代、80歳以上で「特に生涯学習をしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

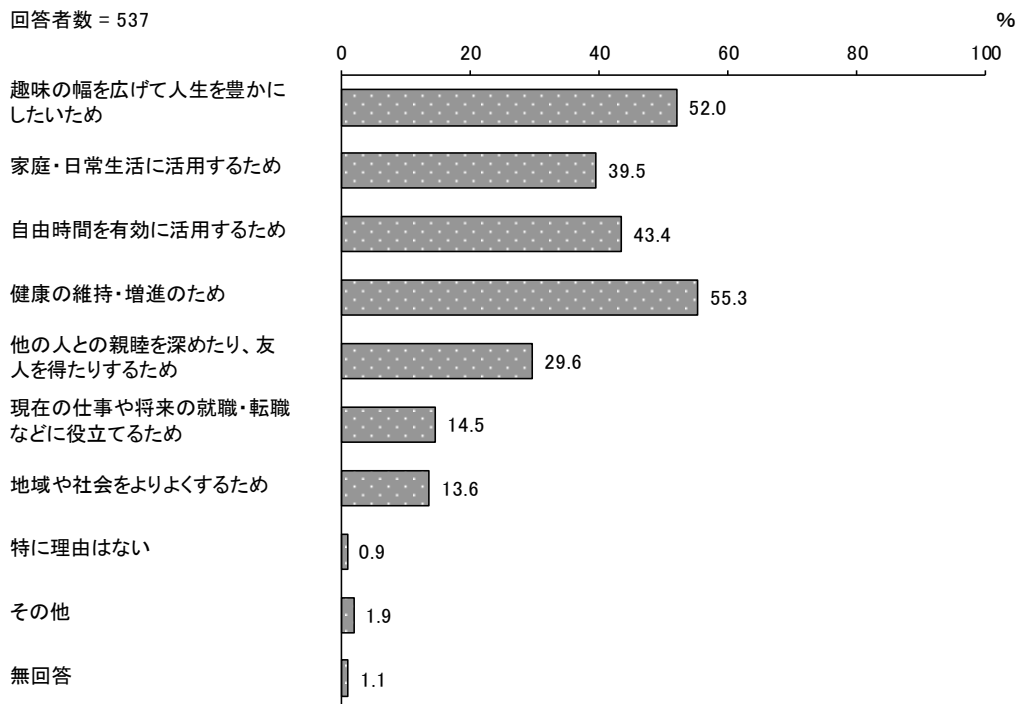
区分	回答者数（件）	趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）	史、科学、語学など	教養的なもの（読書、文学、歴史、科学的なもの）	社会問題に関するもの（環境問題、防災、社会・時事問題、国際問題など）	家庭生活に役立つもの（料理、洋裁、和裁、編み物など）	子育て・教育の知識・技能に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	介護・福祉活動の知識・技能に関すること（介護技術、手話、点字、要約筆記など）	泳、体操、健康法、医学など	スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）
20歳代	58	41.4	31.0	17.2	36.2	10.3	6.9	41.4		
30歳代	106	27.4	33.0	15.1	21.7	35.8	2.8	32.1		
40歳代	119	24.4	25.2	14.3	21.0	14.3	6.7	31.9		
50歳代	147	33.3	29.9	7.5	19.7	7.5	4.8	36.1		
60歳代	148	30.4	21.6	10.1	20.3	2.7	3.4	45.3		
70歳代	148	33.1	17.6	12.2	15.5	2.7	2.0	45.3		
80歳以上	73	34.2	13.7	6.8	15.1	4.1	4.1	38.4		

区分	情報通信分野の知識・技能に関するもの（パソコン、インターネット、スマホなど）	職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）	動物など	西尾市に関すること（地理、歴史、伝統、文化、産業、自然、動物など）	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関すること	地域行事（まつり、イベントなど）・まちづくり活動に関すること	その他	特に生涯学習をしていない	無回答
20歳代	20.7	22.4	1.7	3.4	5.2	1.7	22.4	-	
30歳代	19.8	25.5	5.7	-	7.5	-	25.5	-	
40歳代	10.9	13.4	0.8	2.5	8.4	0.8	32.8	-	
50歳代	15.0	12.9	9.5	5.4	10.2	-	39.5	-	
60歳代	18.2	4.1	4.1	5.4	8.1	0.7	29.7	-	
70歳代	15.5	-	8.1	9.5	10.1	0.7	33.8	0.7	
80歳以上	12.3	-	11.0	1.4	6.8	-	39.7	1.4	

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問7 生涯学習をする目的は何ですか。(○はいくつでも)

「健康の維持・増進のため」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「趣味の幅を広げて人生を豊かにしたいため」の割合が 52.0%、「自由時間を有効に活用するため」の割合が 43.4%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「家庭・日常生活に活用するため」の割合が、50歳以上で「健康の維持・増進のため」の割合が高くなっています。また、60歳以上で「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」の割合が高くなっています。

単位：%

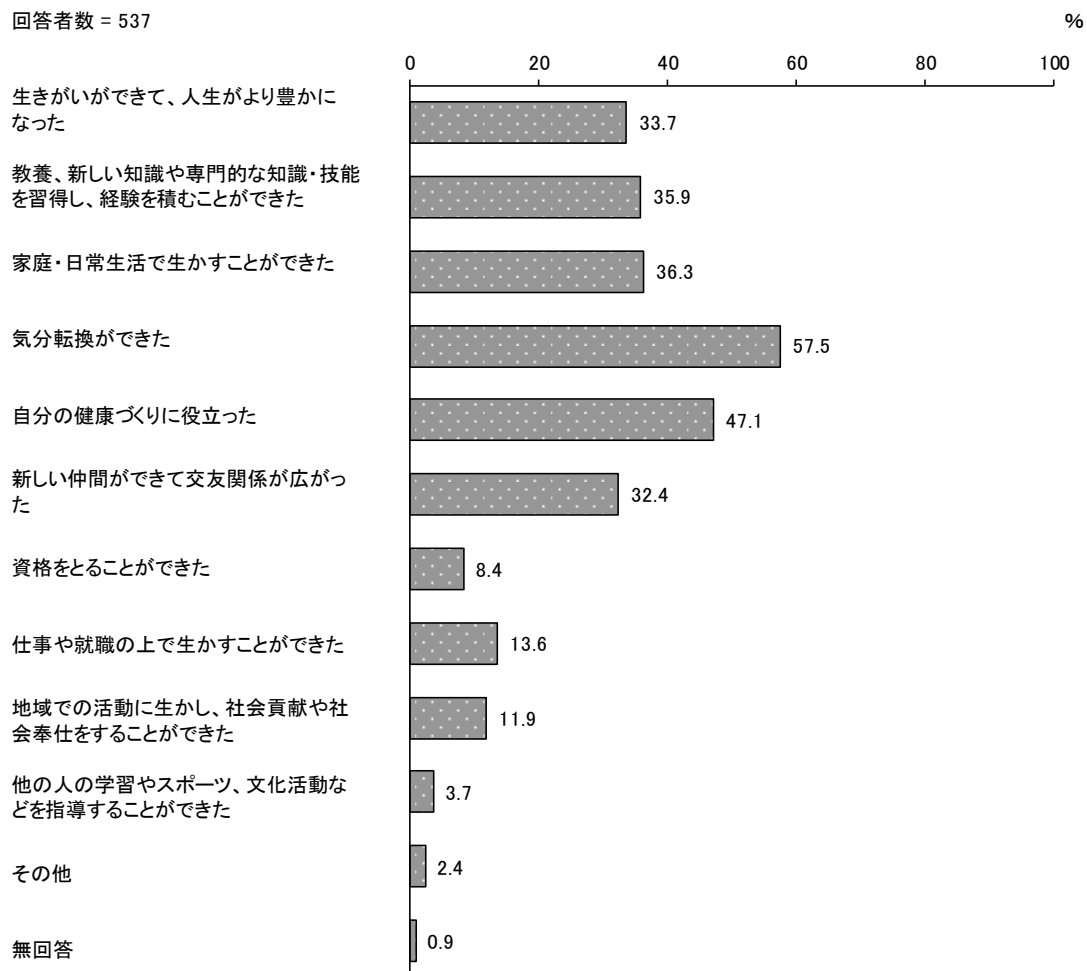
区分	回答者数(件)	趣味の幅を広げて人生を豊かに したいため	家庭・日常生活に活用するため	自由時間を有効に活用するため	健康の維持・増進のため	他の人との親睦を深めたり、友人 を得たりするため	現在の仕事や将来の就職・転職な どに役立てるため	地域や社会をよりよくするため	特に理由はない	その他	無回答
20歳代	45	51.1	46.7	28.9	40.0	22.2	22.2	2.2	2.2	8.9	—
30歳代	79	46.8	59.5	43.0	39.2	16.5	35.4	12.7	1.3	2.5	—
40歳代	80	48.8	46.3	42.5	45.0	17.5	31.3	11.3	1.3	1.3	—
50歳代	89	51.7	33.7	48.3	56.2	27.0	12.4	15.7	1.1	—	—
60歳代	104	55.8	34.6	50.0	63.5	40.4	2.9	12.5	1.0	1.0	—
70歳代	97	59.8	26.8	44.3	73.2	40.2	1.0	20.6	—	2.1	1.0
80歳以上	43	41.9	34.9	32.6	58.1	39.5	—	14.0	—	—	11.6

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問8 生涯学習をして良かったことはどのような点ですか。(○はいくつでも)

「気分転換ができた」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「自分の健康づくりに役立った」の割合が 47.1%、「家庭・日常生活で生かすことができた」の割合が 36.3%となっています。

回答者数 = 537



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「家庭・日常生活で生かすことができた」、「仕事や就職の上で生かすことができた」の割合が、70歳代で「自分の健康づくり」、「新しい仲間ができて交友関係が広がった」の割合が高くなっています。また、20～40歳代で「教養、新しい知識や専門的な知識・技能を習得し、経験を積むことができた」の割合が高くなっています。

単位：%

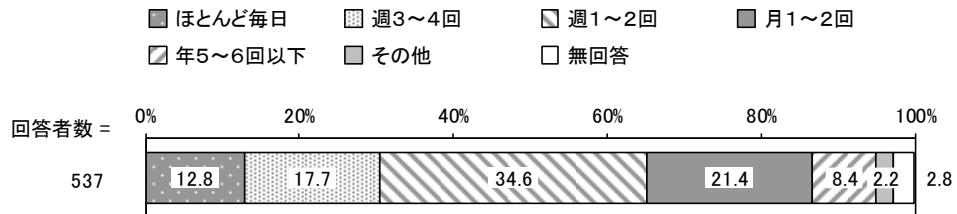
区分	回答者数(件)	生きがいできて、人生がより豊かになった	教養、新しい知識や専門的な知識・技能を習得し、経験を積むことができた	家庭・日常生活で生かすことができた	気分転換ができた	自分の健康づくりに役立つ	新しい仲間ができて交友関係が広がった
20歳代	45	31.1	44.4	33.3	55.6	28.9	31.1
30歳代	79	26.6	45.6	50.6	54.4	27.8	22.8
40歳代	80	22.5	42.5	35.0	51.3	32.5	15.0
50歳代	89	34.8	36.0	36.0	65.2	47.2	31.5
60歳代	104	29.8	32.7	40.4	61.5	55.8	35.6
70歳代	97	48.5	27.8	29.9	59.8	70.1	50.5
80歳以上	43	44.2	23.3	20.9	46.5	55.8	37.2

区分	資格をとることができた	仕事や就職の上で生かすことができた	地域での活動に生かし、社会貢献や社会奉仕をすることができた	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導することができた	その他	無回答
20歳代	20.0	20.0	4.4	—	8.9	—
30歳代	15.2	34.2	3.8	3.8	2.5	—
40歳代	13.8	20.0	8.8	7.5	3.8	—
50歳代	9.0	15.7	12.4	1.1	1.1	—
60歳代	3.8	3.8	16.3	1.9	1.0	1.0
70歳代	1.0	2.1	19.6	6.2	1.0	—
80歳以上	—	2.3	11.6	4.7	2.3	9.3

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

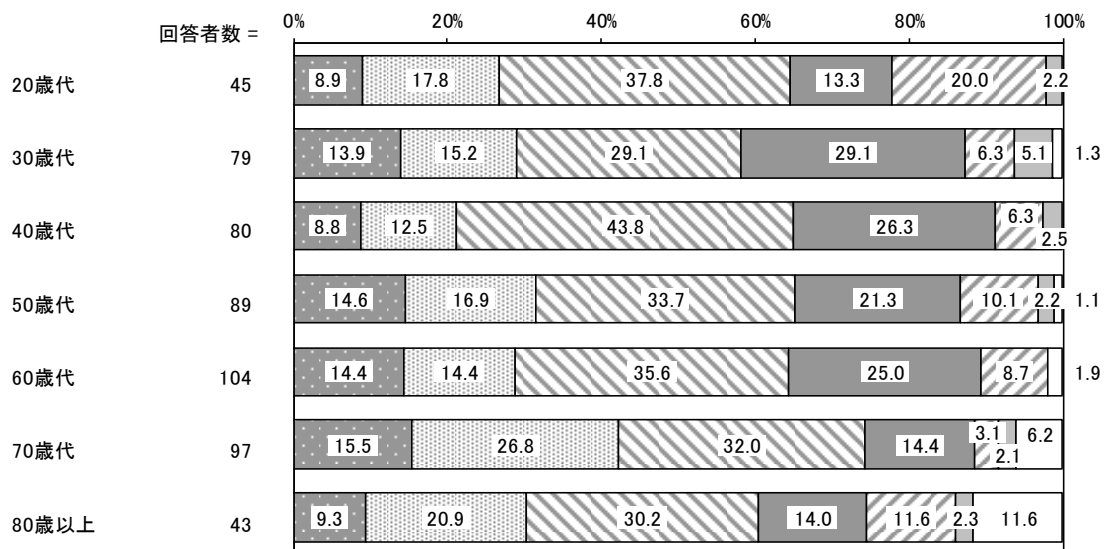
問9 (コロナ禍前は) 生涯学習はどのくらいの頻度で行っていましたか。(○は1つ)

「週1～2回」の割合が**34.6%**と最も高く、次いで「月1～2回」の割合が**21.4%**、「週3～4回」の割合が**17.7%**となっています。



【年代別】

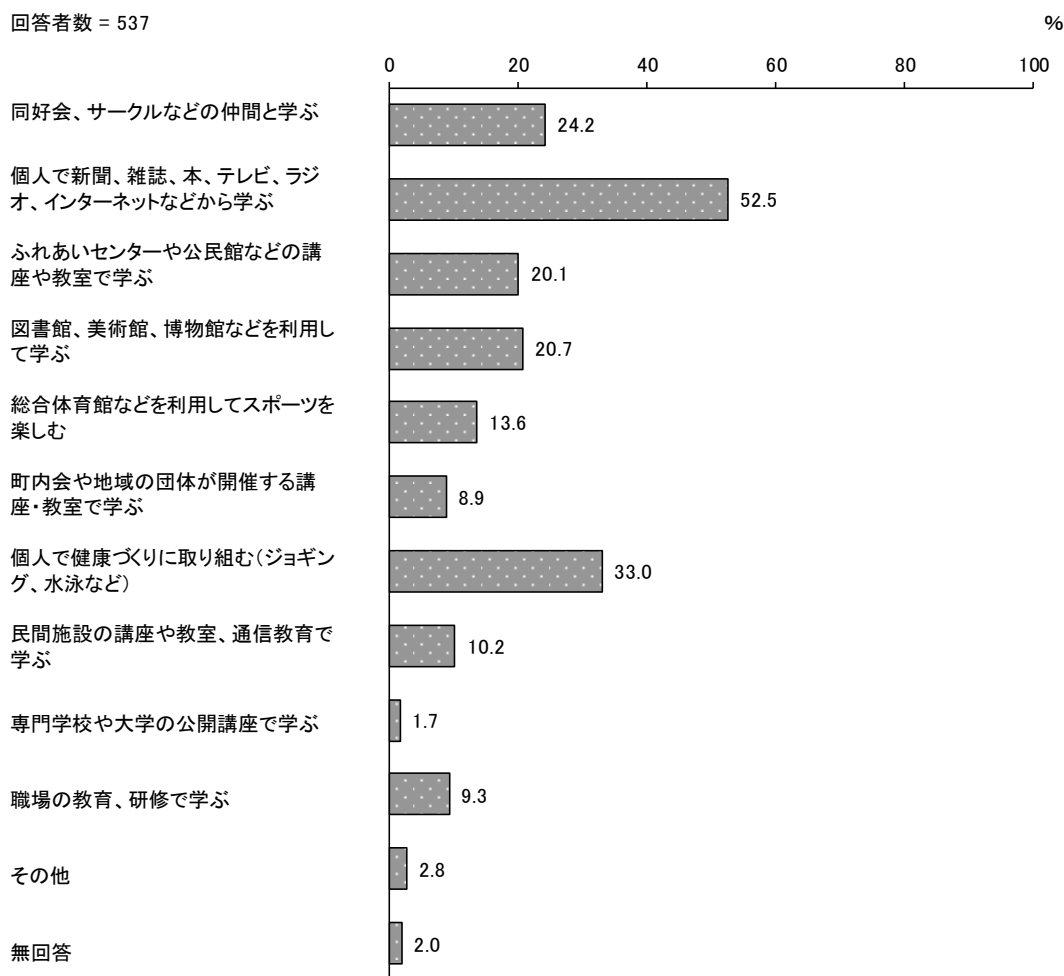
年代別で見ると、他に比べ、**20歳代**で「年5～6回以下」の割合が高くなっています。また、**70歳代**で“週1回以上”の割合が高く、7割以上を占めています。



【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問10 (コロナ禍前は) どのような方法で生涯学習に取り組みましたか。
(〇はいくつでも)

「**個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ**」の割合が**52.5%**と最も高く、次いで「**個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)**」の割合が**33.0%**、「**同好会、サークルなどの仲間と学ぶ**」の割合が**24.2%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「専門学校や大学の公開講座で学ぶ」、30歳代で「職場の教育、研修で学ぶ」の割合が、70歳代で「個人で健康づくりに取り組む（ジョギング、水泳など）」の割合が、80歳以上で「同好会、サークルなどの仲間と学ぶ」、「町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ」の割合が高くなっています。また、20～40歳代で「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が、70歳以上で「ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	同好会、サークルなどの仲間と学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ	図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ	総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ	町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ
20歳代	45	17.8	66.7	4.4	11.1	8.9	6.7
30歳代	79	8.9	64.6	12.7	27.8	15.2	3.8
40歳代	80	15.0	60.0	12.5	26.3	13.8	6.3
50歳代	89	20.2	49.4	22.5	23.6	14.6	6.7
60歳代	104	27.9	50.0	22.1	15.4	16.3	11.5
70歳代	97	38.1	43.3	30.9	20.6	13.4	11.3
80歳以上	43	44.2	34.9	30.2	14.0	7.0	18.6

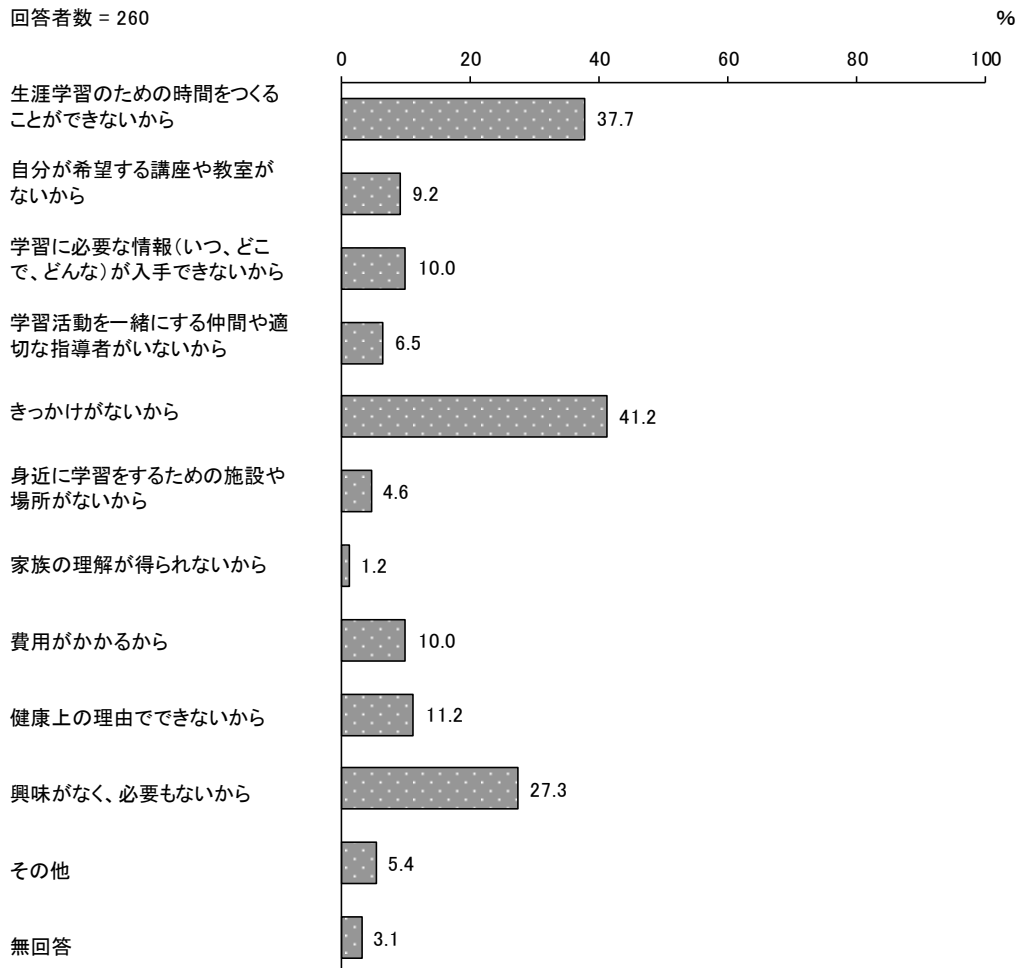
区分	個人で健康づくりに取り組む（ジョギング、水泳など）	民間施設の講座や教室、通信教育で学ぶ	専門学校や大学の公開講座で学ぶ	職場の教育、研修で学ぶ	その他	無回答
20歳代	22.2	8.9	13.3	11.1	2.2	—
30歳代	25.3	12.7	—	26.6	2.5	—
40歳代	32.5	10.0	2.5	12.5	1.3	2.5
50歳代	29.2	19.1	—	7.9	2.2	1.1
60歳代	37.5	8.7	1.0	3.8	3.8	—
70歳代	43.3	4.1	—	2.1	4.1	3.1
80歳以上	32.6	7.0	—	2.3	2.3	11.6

【問6で「14. 特に生涯学習をしていない」と答えた方のみにお聞きします。】

問11 生涯学習をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「きっかけがないから」の割合が41.2%と最も高く、次いで「生涯学習のための時間をつくるできないから」の割合が37.7%、「興味がなく、必要もないから」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 260



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代、40歳代で「きっかけがないから」の割合が、70歳代で「興味がなく、必要もないから」の割合が、80歳以上で「健康上の理由でできないから」の割合が高くなっています。また、30～40歳代で「生涯学習のための時間をつくりたいから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	生涯学習のための時間をつくりたいから	自分が希望する講座や教室がないから	学習に必要な情報(いつ、どこで、どんな)が入手できないから	適切な指導者がいないから	学習活動を一緒にする仲間や	きっかけがないから	身近に学習をするための施設や場所がないから
20歳代	13	46.2	7.7	7.7	7.7	61.5	7.7	
30歳代	27	55.6	7.4	7.4	3.7	48.1	3.7	
40歳代	39	53.8	12.8	10.3	7.7	59.0	5.1	
50歳代	58	44.8	6.9	13.8	6.9	50.0	6.9	
60歳代	44	34.1	9.1	6.8	6.8	47.7	4.5	
70歳代	50	20.0	14.0	12.0	8.0	16.0	2.0	
80歳以上	29	17.2	3.4	6.9	3.4	17.2	3.4	

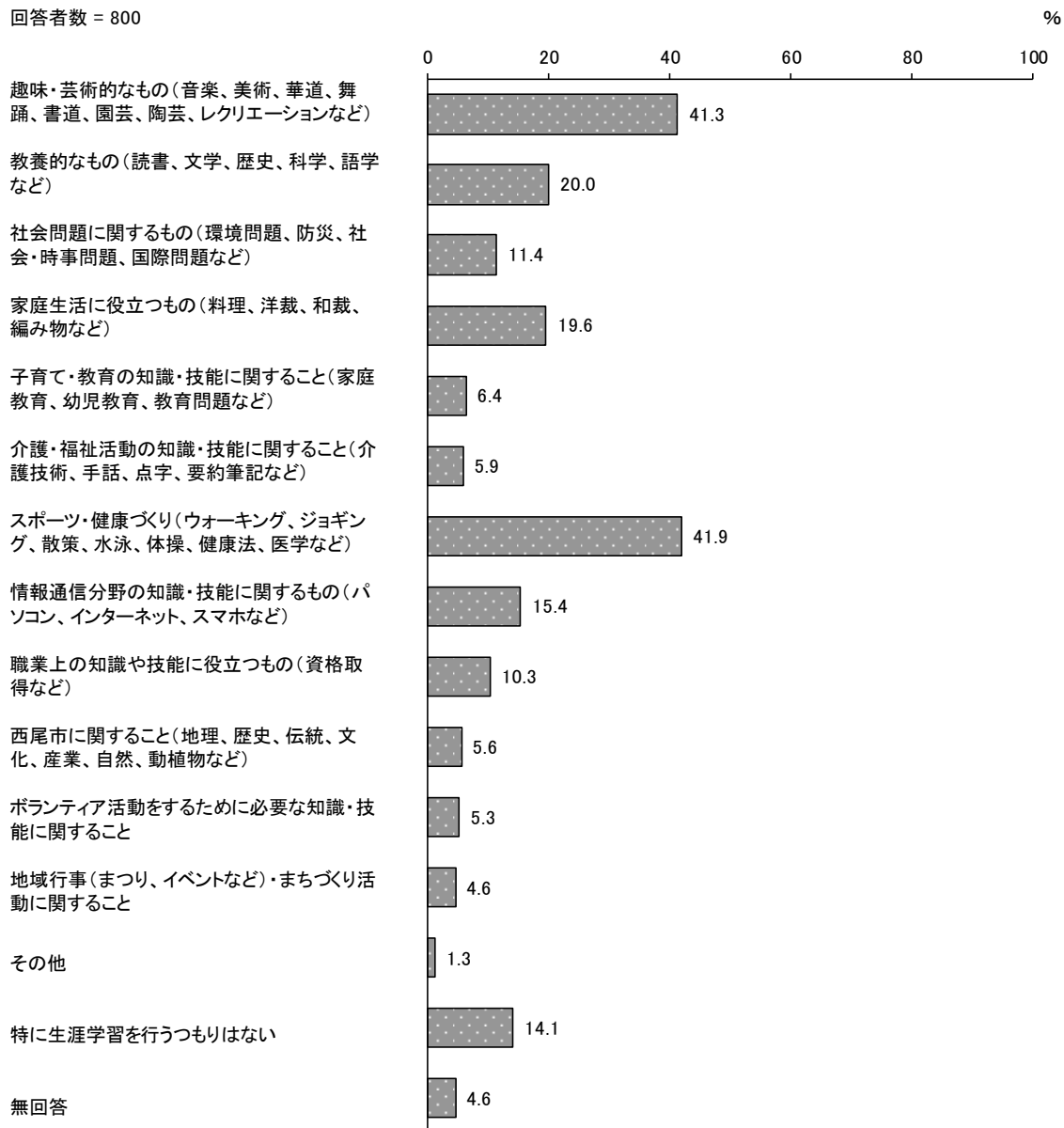
区分	家族の理解が得られないから	費用がかかるから	健康上の理由でできないから	興味がなく、必要もないから	その他	無回答
20歳代	—	7.7	—	15.4	—	15.4
30歳代	—	18.5	3.7	11.1	7.4	—
40歳代	2.6	15.4	5.1	23.1	2.6	—
50歳代	—	13.8	—	17.2	5.2	5.2
60歳代	2.3	6.8	4.5	25.0	4.5	4.5
70歳代	2.0	4.0	24.0	52.0	6.0	2.0
80歳以上	—	3.4	41.4	34.5	10.3	—

3 今後の生涯学習について

問 12 今後、どのような内容の生涯学習をしたいと思いますか。(○は3つまで)

「**スポーツ・健康づくり**(ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など)」の割合が **41.9%**と最も高く、次いで「**趣味・芸術的なもの**(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど)」の割合が **41.3%**、「**教養的なもの**(読書、文学、歴史、科学、語学など)」の割合が **20.0%**となっています。

回答者数 = 800



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「家庭生活に役立つもの（料理、洋裁、和裁、編み物など）」の割合が、30歳代で「職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）」の割合が、50歳代で「趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）」の割合が、60歳代で「スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）」の割合が高くなっています。また、20～30歳代で「子育て・教育の知識・技能に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」の割合が高くなっています。

一方、80歳以上で「特に生涯学習を行うつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、	史、科学、語学など）	教養的なもの（読書、文学、歴史、科学的なもの（読書、文学、歴史、科学、語学など）	社会問題に関するもの（環境問題、防災、社会・時事問題、国	洋裁、和裁、編み物など）	家庭生活に役立つもの（料理、	子育て・教育の知識・技能に関すること（家庭教育、幼児教育、	関すること（介護技術、手話、	介護・福祉活動の知識・技能に	キング、ジョギング、散策、水	スポーツ・健康づくり（ウォー
20歳代	58	41.4	20.7	13.8	31.0	22.4	3.4	32.8				
30歳代	106	27.4	24.5	13.2	19.8	21.7	7.5	26.4				
40歳代	119	36.1	25.2	12.6	25.2	5.9	9.2	47.1				
50歳代	147	53.1	21.8	13.6	22.4	1.4	3.4	45.6				
60歳代	148	48.0	18.9	8.8	16.9	2.0	7.4	54.7				
70歳代	148	41.9	16.9	11.5	14.2	1.4	5.4	41.9				
80歳以上	73	30.1	9.6	5.5	12.3	1.4	2.7	30.1				

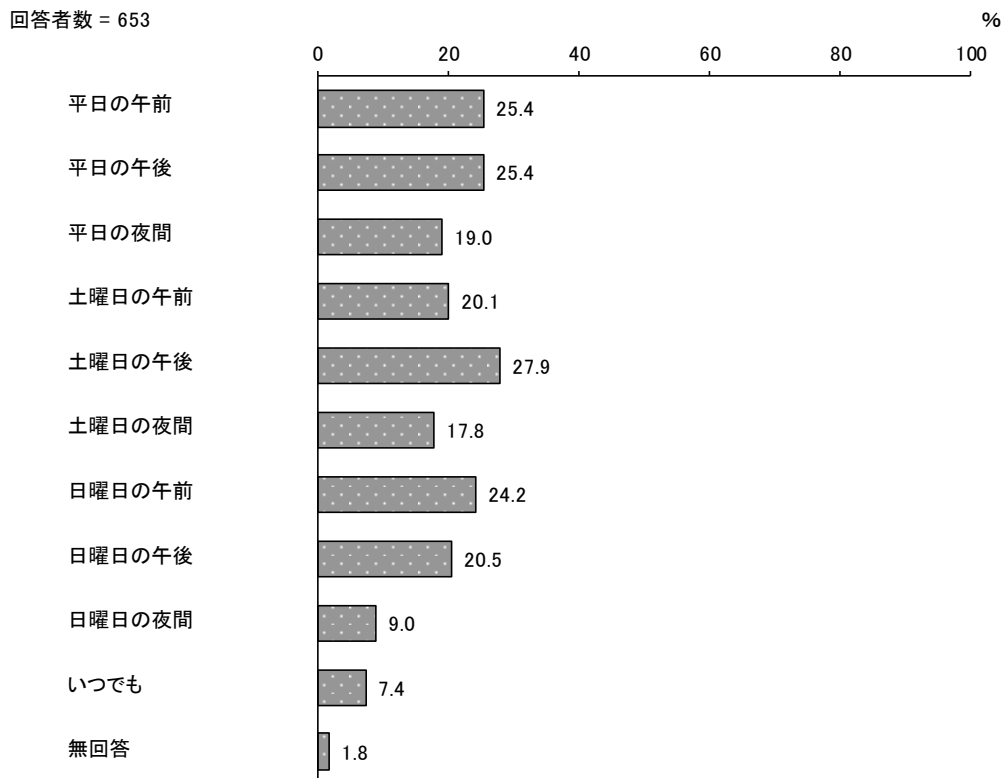
区分	情報通信分野の知識・技能に関するもの（パソコン、インター	職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）	史、伝統、文化、産業、自然、	西尾市に関すること（地理、歴史、	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関するこ	ど）・まちづくり活動に関する	地域行事（まつり、イベントな	その他	ない	特に生涯学習を行うつもりは	無回答
20歳代	15.5	20.7	3.4	3.4	—	3.4	6.9	3.4			
30歳代	17.0	28.3	3.8	1.9	4.7	1.9	9.4	4.7			
40歳代	14.3	20.2	4.2	6.7	2.5	1.7	7.6	5.0			
50歳代	18.4	6.1	6.8	6.8	6.1	0.7	10.9	2.0			
60歳代	15.5	4.1	4.1	7.4	7.4	—	10.8	3.4			
70歳代	14.9	0.7	8.1	4.7	4.1	0.7	21.6	6.8			
80歳以上	8.2	—	8.2	2.7	4.1	2.7	35.6	8.2			

【問 12 で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問 13 生涯学習に参加しやすい曜日と時間帯についてお答えください。

(〇はいくつでも)

「土曜日の午後」の割合が **27.9%**と最も高く、次いで「平日の午前」、「平日の午後」の割合が **25.4%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「土曜日の午後」の割合が、40歳代で「日曜日の午前」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「平日の午前」、「平日の午後」の割合が高くなっています。

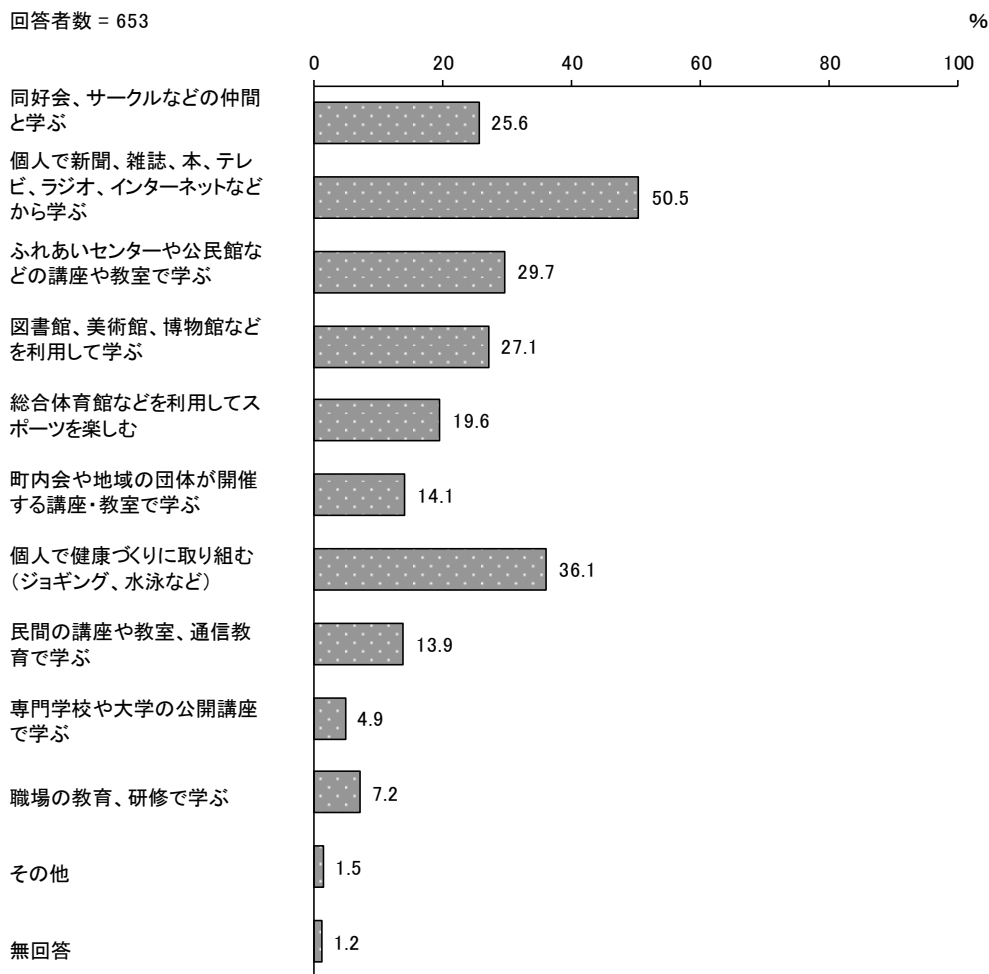
単位：%

区分	回答者数 (件)	平日の午前	平日の午後	平日の夜間	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	日曜日の午前	日曜日の午後	日曜日の夜間	いつでも	無回答
20歳代	52	3.8	13.5	23.1	34.6	50.0	32.7	34.6	34.6	23.1	9.6	-
30歳代	91	20.9	5.5	27.5	31.9	35.2	33.0	33.0	25.3	17.6	4.4	3.3
40歳代	104	17.3	14.4	30.8	32.7	34.6	26.0	40.4	30.8	15.4	1.9	1.0
50歳代	128	16.4	21.1	25.0	21.1	32.0	19.5	34.4	24.2	5.5	3.1	0.8
60歳代	128	34.4	35.9	13.3	11.7	17.2	9.4	12.5	12.5	3.9	10.2	0.8
70歳代	107	42.1	43.0	5.6	4.7	17.8	3.7	4.7	10.3	2.8	14.0	2.8
80歳以上	42	40.5	45.2	-	7.1	14.3	2.4	7.1	7.1	-	11.9	7.1

【問 12 で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問 14 今後、どのような方法で生涯学習に取り組んでいきたいと思いませんか。
(〇はいくつでも)

「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)」の割合が 36.1%、「ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ」の割合が 29.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「専門学校や大学の公開講座で学ぶ」の割合が、30歳代で「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が、40歳代で「総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ」の割合が、70歳代で「個人で健康づくりに取り組む（ジョギング、水泳など）」の割合が高くなっています。また、20～30歳代で「職場の教育、研修で学ぶ」の割合が、50～70歳代で「ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ」の割合が高くなっています。

単位：%

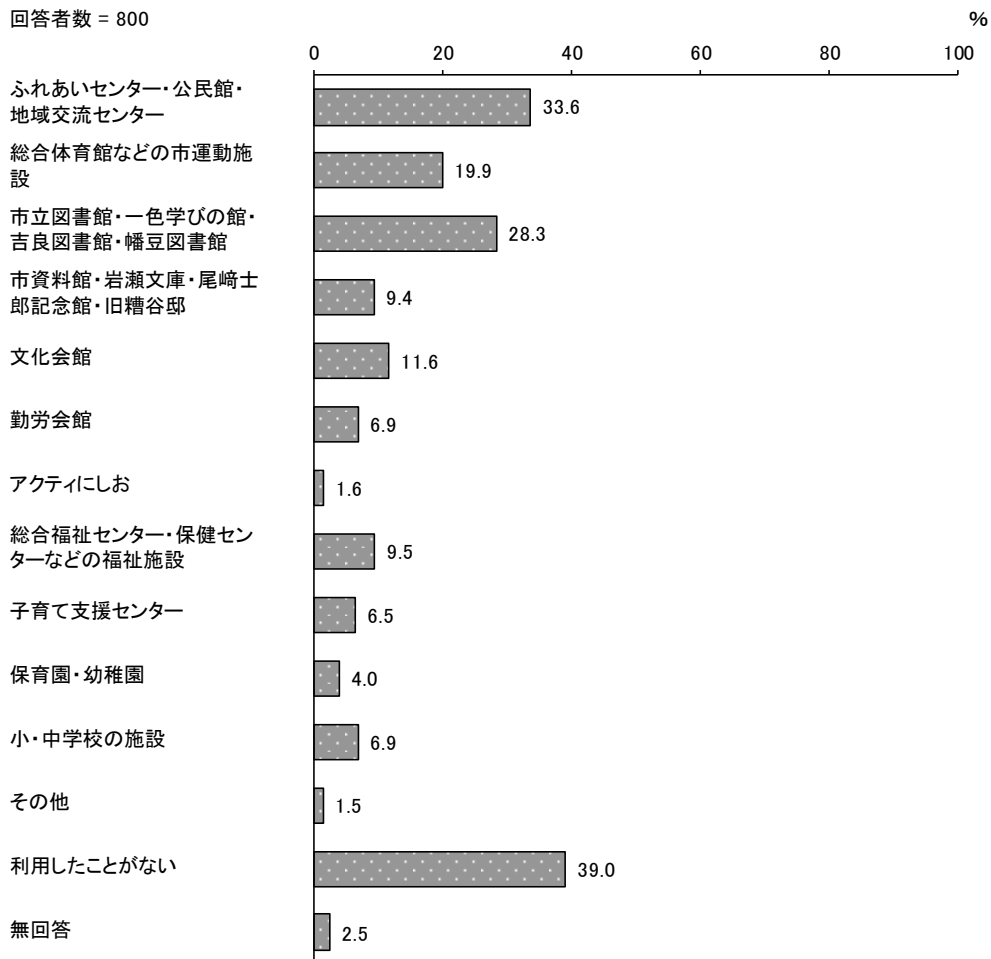
区分	回答者数(件)	同好会、サークルなどの仲間と学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ	総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ	町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ
20歳代	52	23.1	55.8	11.5	23.1	15.4	5.8	
30歳代	91	19.8	73.6	20.9	33.0	22.0	9.9	
40歳代	104	12.5	60.6	24.0	32.7	27.9	7.7	
50歳代	128	25.8	46.9	39.8	29.7	14.8	15.6	
60歳代	128	29.7	39.8	35.2	24.2	19.5	16.4	
70歳代	107	34.6	45.8	34.6	24.3	21.5	19.6	
80歳以上	42	38.1	26.2	26.2	11.9	9.5	23.8	

区分	個人で健康づくりに取り組む（ジョギング、水泳など）	民間の講座や教室、通信教育で学ぶ	専門学校や大学の公開講座で学ぶ	職場の教育、研修で学ぶ	その他	無回答
20歳代	34.6	17.3	13.5	19.2	1.9	1.9
30歳代	30.8	17.6	6.6	20.9	-	-
40歳代	32.7	18.3	5.8	7.7	1.0	-
50歳代	32.0	16.4	6.3	5.5	3.1	-
60歳代	38.3	10.9	3.1	0.8	1.6	0.8
70歳代	47.7	6.5	0.9	1.9	-	2.8
80歳以上	35.7	11.9	-	-	2.4	7.1

4 生涯学習施設について

問 15 生涯学習のために市内の公共施設を利用したことがありますか。
(○はいくつでも)

「利用したことがない」の割合が **39.0%**と最も高く、次いで「ふれあいセンター・公民館・地域交流センター」の割合が **33.6%**、「市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館」の割合が **28.3%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「利用したことがない」の割合が、70歳以上で「ふれあいセンター・公民館・地域交流センター」の割合が高くなっています。また、20～30歳代で「保育園・幼稚園」の割合が、30～40歳代で「市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館」、「子育て支援センター」の割合が高くなっています。

単位：%

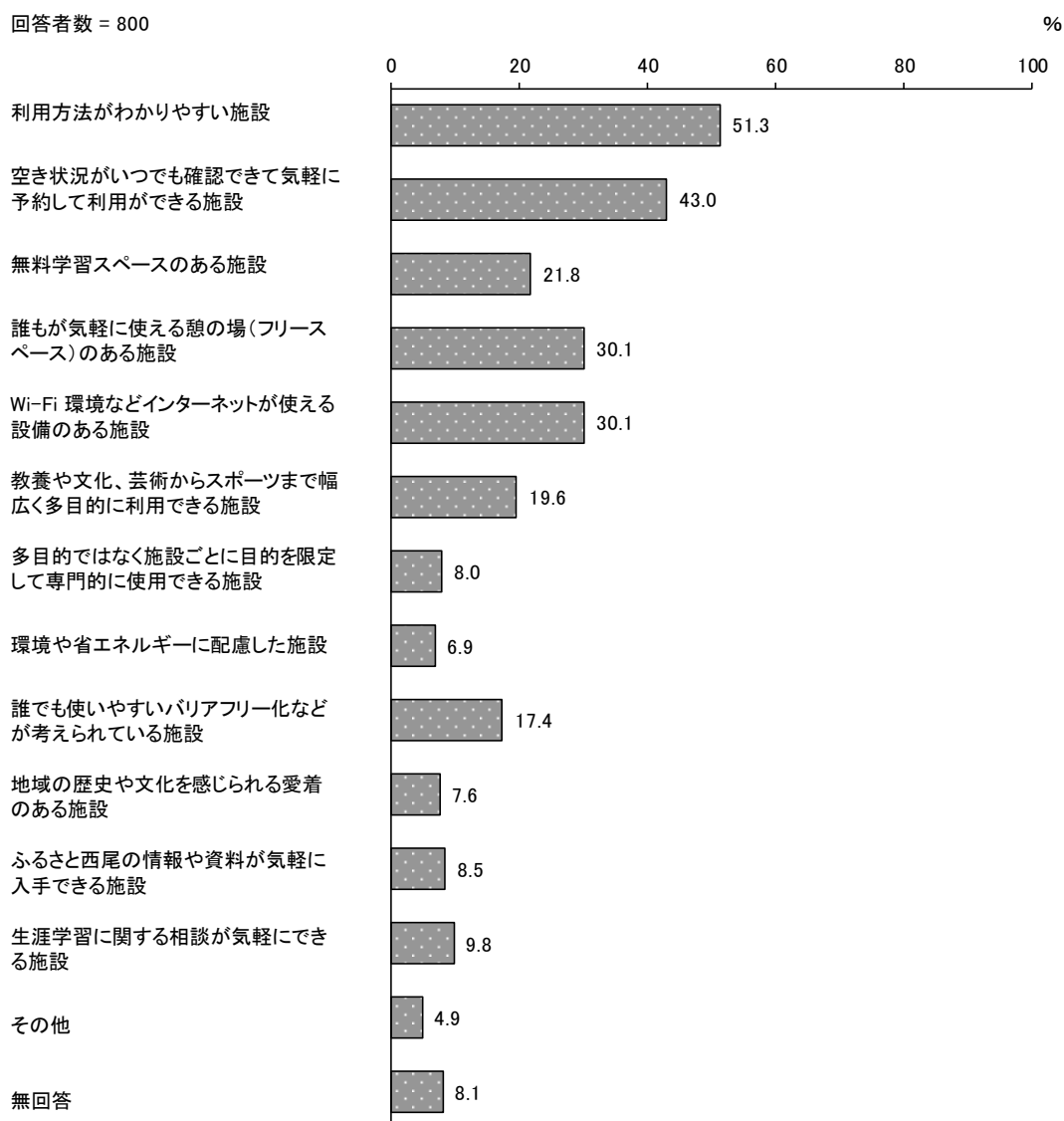
区分	回答者数(件)	ふれあいセンター・公民館・地域交流センター	総合体育館などの市運動施設	市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館	市資料館・岩瀬文庫・尾崎土郎記念館・旧糟谷邸	文化会館	勤労会館	アクティにしお
20歳代	58	22.4	22.4	22.4	5.2	5.2	1.7	1.7
30歳代	106	19.8	20.8	38.7	6.6	10.4	1.9	1.9
40歳代	119	29.4	26.1	37.0	10.9	10.9	6.7	—
50歳代	147	30.6	25.9	29.9	11.6	10.9	8.8	1.4
60歳代	148	35.8	16.9	27.0	6.8	11.5	7.4	4.1
70歳代	148	44.6	14.9	23.0	13.5	14.9	9.5	1.4
80歳以上	73	47.9	11.0	12.3	6.8	15.1	8.2	—

区分	総合福祉センター・保健センターなどの福祉施設	子育て支援センター	保育園・幼稚園	小・中学校の施設	その他	利用したことがない	無回答
20歳代	3.4	6.9	10.3	8.6	1.7	53.4	—
30歳代	5.7	19.8	12.3	6.6	—	41.5	2.8
40歳代	8.4	15.1	4.2	8.4	—	33.6	0.8
50歳代	7.5	1.4	2.7	9.5	2.7	40.8	1.4
60歳代	10.1	2.0	0.7	6.8	3.4	41.2	2.0
70歳代	14.9	2.0	0.7	3.4	0.7	33.8	4.1
80歳以上	13.7	1.4	2.7	5.5	1.4	35.6	6.8

問 16 利用してみたいと思う生涯学習施設はどのような施設ですか。

(○はいくつでも)

「利用方法がわかりやすい施設」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用できる施設」の割合が 43.0%、「誰もが気軽に使える憩いの場(フリースペース)のある施設」、「Wi-Fi 環境などインターネットが使える設備のある施設」の割合が 30.1%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「生涯学習に関する相談が気軽にできる施設」の割合が、80歳以上で「誰でも使いやすいバリアフリー化などが考えられている施設」、「ふるさと西尾の情報や資料が気軽に入手できる施設」の割合が高くなっています。また、20～40歳代で「空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用ができる施設」、「Wi-Fi環境などインターネットが使える設備のある施設」の割合が高くなっています。

単位：%

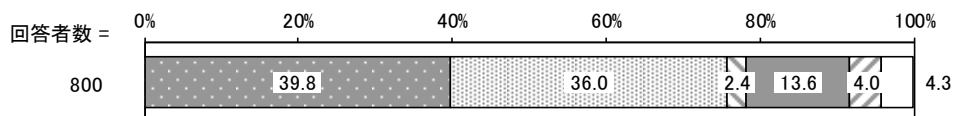
区分	回答者数(件)	利用方法がわかりやすい施設	空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用ができる施設	無料学習スペースのある施設	誰もが気軽に使える憩いの場(フリースペース)のある施設	Wi-Fi環境などインターネットが使える設備のある施設	多目的ではなく施設ごとに目的を限定して専門的に使用できる施設	多目的ではなく施設ごとに目的を限定して専門的に使用できる施設
20歳代	58	62.1	60.3	32.8	34.5	50.0	17.2	6.9
30歳代	106	61.3	64.2	28.3	24.5	48.1	21.7	5.7
40歳代	119	56.3	58.8	23.5	30.3	45.4	23.5	10.9
50歳代	147	57.8	47.6	24.5	34.0	38.8	21.1	12.2
60歳代	148	47.3	35.8	19.6	30.4	23.6	20.3	9.5
70歳代	148	38.5	20.3	18.2	31.1	8.8	18.9	5.4
80歳以上	73	41.1	24.7	6.8	24.7	2.7	9.6	1.4

区分	環境や省エネルギーに配慮した施設	誰でも使いやすいバリアフリー化などが考えられている施設	地域の歴史や文化を感じられる愛着のある施設	ふるさと西尾の情報や資料が気軽に入手できる施設	生涯学習に関する相談が気軽にできる施設	その他	無回答
20歳代	6.9	20.7	3.4	3.4	20.7	3.4	-
30歳代	12.3	13.2	6.6	5.7	4.7	4.7	3.8
40歳代	2.5	10.1	7.6	5.9	13.4	3.4	4.2
50歳代	8.2	15.6	7.5	8.8	8.8	1.4	2.7
60歳代	5.4	17.6	9.5	6.8	10.1	6.1	8.8
70歳代	6.1	20.9	8.1	11.5	7.4	6.8	16.2
80歳以上	8.2	28.8	8.2	17.8	8.2	9.6	19.2

問 17 西尾市の公共施設の現状から、すべての公共施設を維持していくことは非常に難しい状況です。こうした状況の中、ふれあいセンター・公民館等の生涯学習施設の今後について、どのように思いますか。(考えに最も近いもの1つに○)

「ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき」の割合が 36.0%、「現状のままで良い」の割合が 13.6%となっています。

- ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき
- 全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき
- 身近なふれあいセンター・公民館等がないので、新築して増やすべき
- 現状のままで良い
- その他
- 無回答

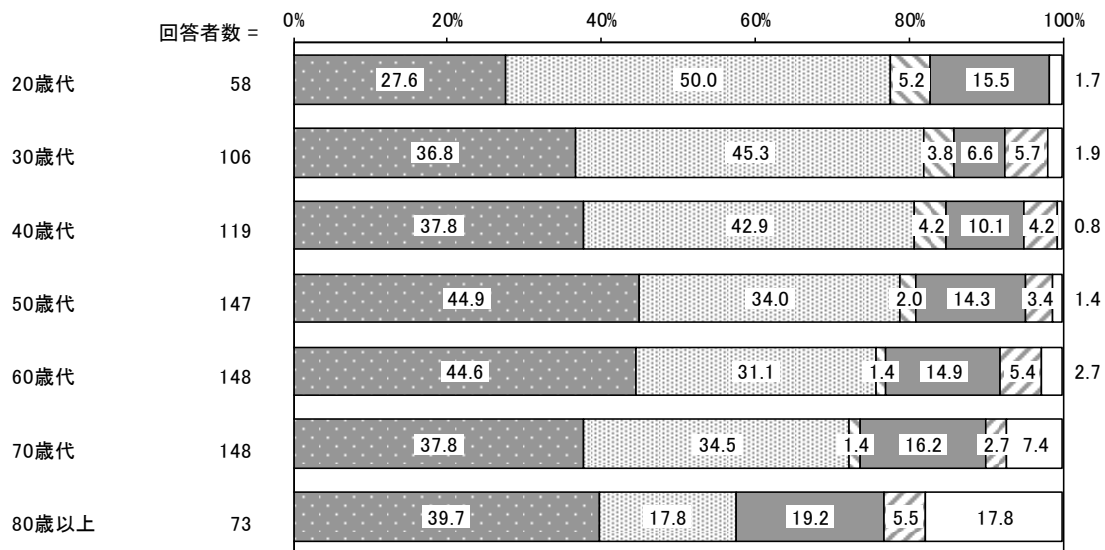


【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20～40 歳代で「全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき」の割合が、50～60 歳代で「ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき」の割合が高くなっています。

また、70 歳代をのぞくすべての年代で、年代が上がるにつれて、「全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき」の割合が低くなっています。

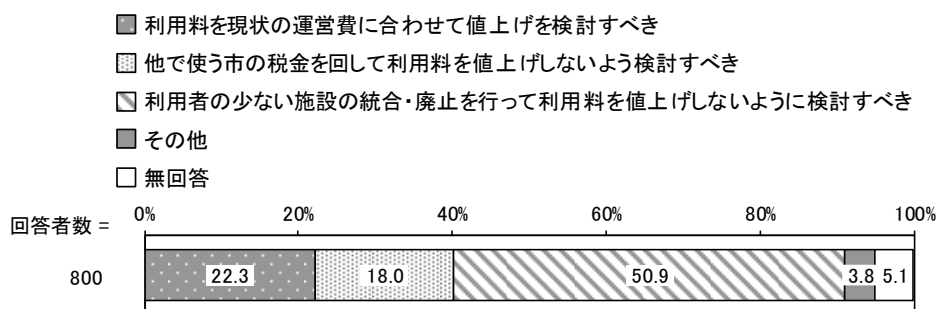
- ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき
- 全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき
- 身近なふれあいセンター・公民館等がないので、新築して増やすべき
- 現状のままで良い
- その他
- 無回答



問 18 ふれあいセンター・公民館等の運営費のうち利用者が負担しているのは1割以下で、それ以外は利用していない市民の税金も投入されています。今後は、施設の老朽化による修繕などの費用も増えてくるため、公共施設の利用料を見直すことが必要になると想定されます。このことについて、どう思いますか。

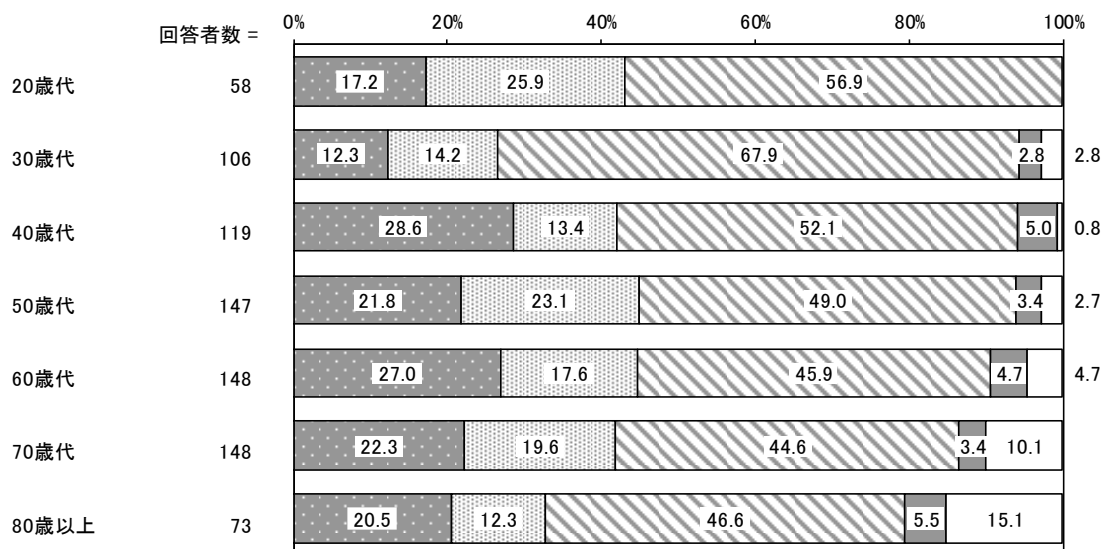
(考えに最も近いもの1つに○)

「利用者の少ない施設の統合・廃止を行って利用料を値上げしないように検討すべき」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「利用料を現状の運営費に合わせて値上げを検討すべき」の割合が 22.3%、「他で使う市の税金を回して利用料を値上げしないよう検討すべき」の割合が 18.0%となっています。



【年代別】

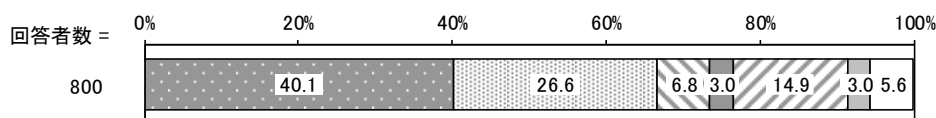
年代別でみると、他に比べ、30歳代で「利用者の少ない施設の統合・廃止を行って利用料を値上げしないように検討すべき」の割合が高くなっています。



問 19 行財政改革の一環として、公共施設の効率的な管理運営方法の一つに民間の団体や会社に管理運営を任せるアウトソーシングという方法があり、市内の施設の一部には、アウトソーシングで運営されている施設（ホホワイトウェイブ・一色学びの館・一色町公民館・米津ふれあいセンターなど）があります。公共施設のアウトソーシングについて、どう思いますか。（考えに最も近いもの1つに○）

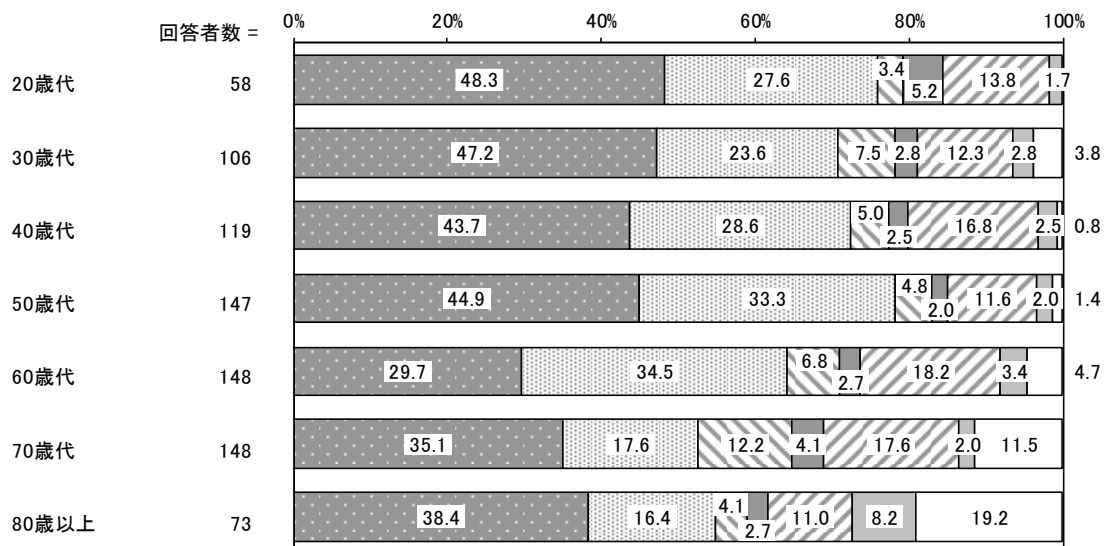
「**効率的な施設運営を行うことができるのであれば進めるべき**」の割合が **40.1%**と最も高く、次いで「**民間のアイデアで利用者が増えるのであれば進めるべき**」の割合が **26.6%**、「**公共施設の管理運営は市でも民間団体でもどちらでもよい**」の割合が **14.9%**となっています。

- 効率的な施設運営を行うことができるのであれば進めるべき
- 民間のアイデアで利用者が増えるのであれば進めるべき
- 公共施設は市が直接、管理運営すべきなので進めるべきではない
- 民間の団体や会社は倒産などの危険性があるため進めるべきではない
- 公共施設の管理運営は市でも民間団体でもどちらでもよい
- その他
- 無回答



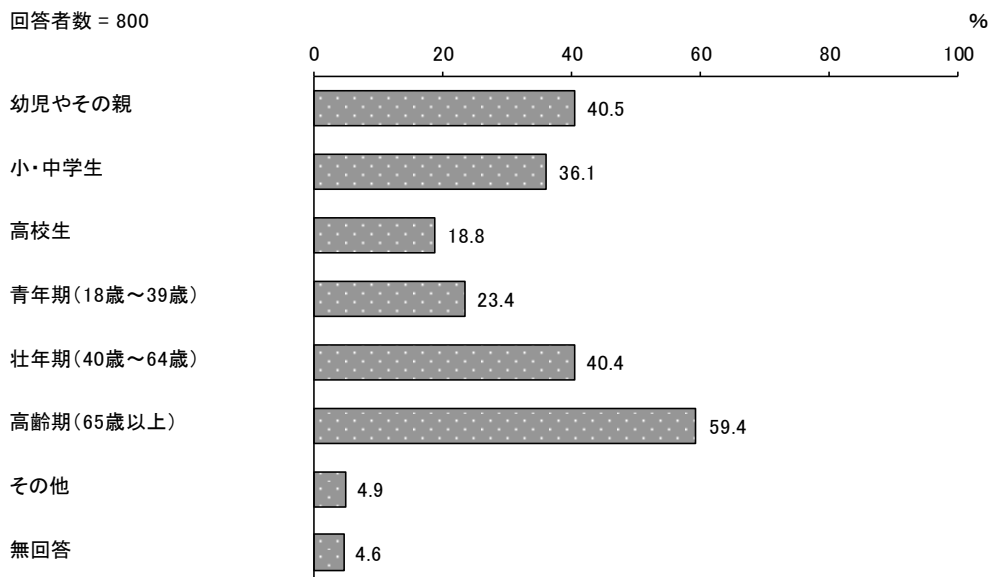
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、**20～50 歳代**で「**効率的な施設運営を行うことができるのであれば進めるべき**」の割合が高くなっています。



問 20 どのような世代を対象とした生涯学習を充実したほうがよいと思いますか。
(○はいくつでも)

「高齡期(65歳以上)」の割合が59.4%と最も高く、次いで「幼児やその親」の割合が40.5%、「壮年期(40歳~64歳)」の割合が40.4%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「高校生」、「青年期(18歳~39歳)」の割合が、30歳代で「幼児やその親」、「小・中学生」の割合が高くなっています。また、40~50歳代で「壮年期(40歳~64歳)」の割合が、50~60歳代で「高齡期(65歳以上)」の割合が高くなっています。

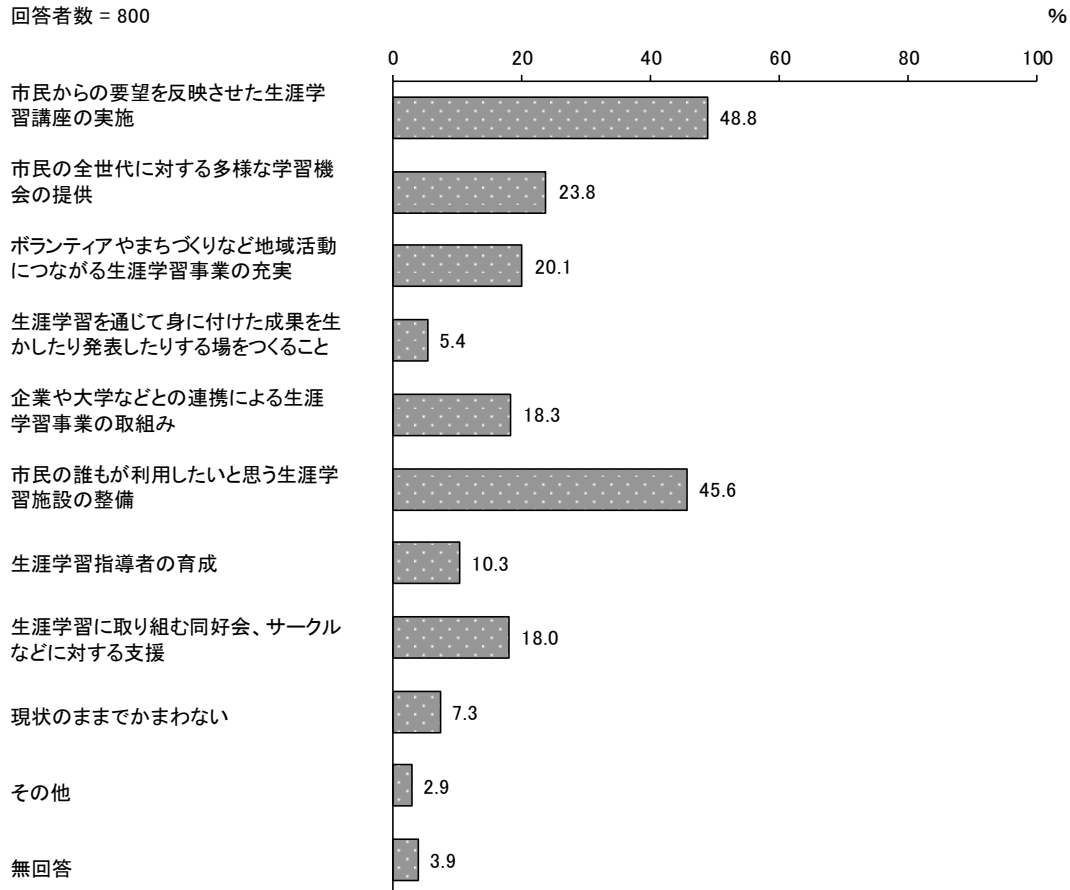
単位：%

区分	回答者数 (件)	幼児やその親	小・中学生	高校生	青年期 (18歳~39歳)	壮年期 (40歳~64歳)	高齡期 (65歳以上)	その他	無回答
20歳代	58	43.1	51.7	39.7	51.7	27.6	39.7	3.4	3.4
30歳代	106	54.7	61.3	34.0	31.1	30.2	48.1	2.8	1.9
40歳代	119	46.2	52.1	24.4	30.3	54.6	57.1	6.7	0.8
50歳代	147	46.3	26.5	13.6	18.4	57.1	69.4	2.0	2.0
60歳代	148	38.5	24.3	10.1	17.6	42.6	66.9	5.4	4.1
70歳代	148	30.4	32.4	12.8	15.5	29.1	59.5	7.4	7.4
80歳以上	73	21.9	12.3	11.0	16.4	27.4	60.3	5.5	15.1

5 今後の西尾市の生涯学習に期待することについて

問 21 西尾市の生涯学習を盛んにしていくために、西尾市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

「市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「市民の誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備」の割合が 45.6%、「市民の全世代に対する多様な学習機会の提供」の割合が 23.8%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「企業や大学などとの連携による生涯学習事業の取組み」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施	市民の全世代に対する多様な学習機会の提供	ボランティアやまちづくりなど地域活動につながる生涯学習事業の充実	生涯学習を通じて身に付けた成果を生かしたり発表したりする場をつくること	企業や大学などとの連携による生涯学習事業の取組み
20歳代	58	48.3	25.9	15.5	8.6	22.4
30歳代	106	50.9	19.8	11.3	4.7	32.1
40歳代	119	53.8	31.9	23.5	5.0	21.8
50歳代	147	53.7	27.9	19.0	3.4	20.4
60歳代	148	48.0	25.7	25.7	4.7	13.5
70歳代	148	43.9	21.6	21.6	4.1	10.1
80歳以上	73	39.7	6.8	19.2	12.3	11.0

区分	市民の誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備	生涯学習指導者の育成	生涯学習に取り組む同好会、サークルなどに対する支援	現状のままでもかまわない	その他	無回答
20歳代	46.6	8.6	8.6	13.8	5.2	1.7
30歳代	47.2	5.7	8.5	7.5	2.8	2.8
40歳代	40.3	12.6	20.2	3.4	5.0	1.7
50歳代	45.6	9.5	20.4	4.8	2.0	1.4
60歳代	51.4	12.8	18.2	6.8	0.7	2.0
70歳代	48.0	10.8	24.3	8.1	4.1	6.1
80歳以上	35.6	8.2	16.4	12.3	1.4	15.1

6 自由記述の意見について【無作為抽出市民対象】

◆西尾市の生涯学習をさらに推進する上で、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

カテゴリ	件数
学習機会の充実	41
公共施設	23
情報の提供	17
高齢化	9
スポーツ施設	8
交通環境	7
スポーツ活動	4
ボランティア活動	4
地域人材の育成	2
つながりづくり	1
学習成果の活用	1
家庭教育	0
その他	29

※意見は原文のまま記載しています。

学習機会の充実

- ・ 市で行っている講座に未就学児とその親向けの講座がもっと増えるとうれしいです。
- ・ 一昨年に現在の西尾市吉良町へ転入してきた者です。コロナ禍のせいかもしれませんが、前に住んでいた所の方が生涯学習の機会に恵まれていました。地域ふれあいサークル、博物館や文化センターなどの講演会、テーマパークでの演芸など。こちらではそういった機会が少なく、あっても西尾市中心部の方まで出かけていかなければなりません。旧幡豆郡など周辺部の地域でも生涯学習の機会を増やしてください。
- ・ 利用料をあげれば、参加者をもっと減ってしまう。参加費は現状のままで、子育て中の人とか退職者とか、家に居る時間が長い人を対象に、気軽に参加できる講座を増やしてほしい。
- ・ ポルトガル語などのあいさつが出来るようになりたい。西尾市内にいる外国籍の方との交流など全く機会がないので生涯学習を通して学べるのもいいかなと思います。
- ・ 生涯学習が西尾市の施設で行われるものばかりでなく、民間の通信教室や講座も含まれているのなら、それに対して申請すれば、一部補助していただけるなどのシステムがあるといいなと思う。もしあったとしたら、もう少し周知できるといいと思う。
- ・ 社会情勢などを踏まえて、特色ある本当の生涯学習の開催をしてみたいかたがででしょうか。
- ・ 先の生涯を見据えての生活で実現できる英会話教室・
- ・ 自宅でいつまでも暮らしていく為の介護のヒントを知る教室・
- ・ パソコンやスマートフォンなども毎日楽しんで使用しているのが今の 60 才代です。世界の事、知らない事を知る事のできる楽しい学習があれば参加してみたいです。
- ・ 市民が興味を示す内容の学習を増して下さい！
- ・ ビジネスマナーや一般マナーなどの講座がほしい

- ・ オンライン講座を増やして欲しい。
- ・ 職業上、資格取得につながるような講座若者の就職及び企業につながるような講座に興味があります。
- ・ 産後に託児付きのピラティス学習講座を受講したのですが、すごく人気でもっと講座が沢山あったらいいのになあと思いました。また、リモートでもできる講座があったら、おねがいしたいです。子どもと一緒に出かけることがもっともっと気軽にでき、楽しめる生涯学習を希望します。
- ・ 以前の仕事の時は、平日の夜に参加する事ができましたが、今は毎週参加するのがむずかしく、毎週必ずとかではなく月に何回か参加できる講座とか、単発で参加できるとかあったら嬉しいです。男性が気軽にできる講座とか主人は完全退職したら男の料理教室に参加したがついてます。
- ・ スポーツ教室やふれあい教室など、参加してみたい講座があっても、平日の午前など、仕事していると参加できない時間帯が多い。働いている人も参加しやすいように、同じ講座でも、時間帯を AM・PM 両方設けたり、土、日もどちらでも参加できるよう。あと、参加場所も西尾市均等にもう少し増やすなどしてほしい。独身者や、30～50 歳代などもやってみたい講座なども増やしてほしい。
- ・ 平日の日中に興味のある講座を開催されても絶対参加できない。公民館やセンターの利用時間の関係だったり、講師の方の都合だったりもあるとは思いますが、ターゲットが参加しやすい時間などを考えて魅力的な講座を開催してほしい。例) オトコの料理教室 火曜日 10:30～12:00) →参加したくても絶対無理。
- ・ ○施設の利用時間を見直ししてほしいです特に午後からは、もう少し短時間利用(2 時間位)が多いらしく、短くして、他の方が利用しやすく、利用料も下げてもらえると利用しやすくなると思います○中・高年のスポーツに関する講座をもっと多くとりあげていただきたいです。○講座も午後からあると参加しやすいです
- ・ 矢田のふれあいセンターで、中高の学生が勉強しています。私は囲碁をやっているのですが、トイレへ行く時などついジャマをしてしまいます。複数人でペラペラ話しをしながらトイレなどへ、、、ですから、一つの勉強室を必要ではないかと思えます。午前中は学生はこないの時間割も考えて下さい。一度、学生たちの意見も聞いてあげて下さい。
- ・ ・人気の講座は定員オーバーで入れない事もあります。希望者が全員参加できる様な方法はないでしょうか?(定員を増やす。会場を広い所に移すなど、次回の予想がつくはずなので)
・WEB での申し込みができるのはありがたいです。メ切間際にどれくらいの応募があったかなど申し込み状況を知る事ができたら、申し込みしやすいかもしれません。
・人気のある講座は同じ所でやるのではなく、地区を変えいろんな所で続けていってもらえると自分の家の近くでやっている場合参加しやすいのではないのでしょうか?
・講座終了後も、講座とは別で同じ様な事ができるシステムがあれば、長く続けれるとおもいます(有志でサークルを作り市の施設を安く借りられる様な)
- ・ 生涯学習課の管轄ではないかも知れませんが今市内で屋内スポーツをやる場所が少なく体育館予約も大変です。そこで学校開放で夜間使用できるんですが種目に寄ってできない小学校等もあるので一度見直し検討して欲しいです。※新しいアリーナ建設が速く進む事を願います。
- ・ 市の開催している講座など受講したい気持ちはあるのですが仕事をしながら子育てしているので平日は難しいし、土日も子供と過ごすので参加する事ができない状況です。親子で楽しめる講座や若い人に生涯学習をしてもらおうとしたら、託児できる環境がないとなかなか厳しいのかなと思います。
- ・ 正社員で働いていると、平日の講座等が多くあっても参加できません。土日や夜間に講座が多くあるとありがたい。
- ・ 現役世代が生涯学習に取り組める、取り組みたくなるような、市からの提案があれば、私も含

め、利用者が up すると思う。今、利用状況・予約状況等は、ネットで調べれば必ず出てくる状況なのではないでしょうか？施設に Tel してかくにんするのは面倒なので、やめる人、多いと思ってます。

- ・ 市民全体の世代の人々が有効的に学べる様にして望んでいます
- ・ 子どもたちがいきいきとできる場所・体験たくさんあればうれしいです。
- ・ 広報にのっている講座を利用することがありますが、もっと講座の種類や回数を増やして気軽に使えるとうれしいです。(仕事の休みの日が月ようなので休館日と重なり講座がない事が多い。平日正午から午後 3:00 くらいまでの講座が増えるとうれしいです。)
- ・ さまざまな分野の無料コースを作成する。・外国人が日本語を学ぶための無料のコースを作成する。
- ・ 生涯学習の種類がすくないように思います。
- ・ 文化会館がもう少し利用しやすくなるといい。なんだか、有効に使われていない感じ 安城市や岡崎市にあるような多目的な集いのできる場が西尾市もあるといい。
- ・ 会社勤めをしていると、平日の時間制約が厳しい。放送大学の様なインターネットでの講座があれば、平日のすき間時間にも学びの機会が増えると思います。(子供とラジオ講座で英語の勉強をしていますが、映像が無いので、子供の理解度が下がっています。)
- ・ 共働きが増えてきている中、子供の教育等が家庭内では足りないように感じます。スポーツ等を通して市の生涯学習を利用して、子供たちの心身を育てられるような町になってほしいです。教師の負担を減らすために部活動が減っています。学校と連携し、子供のスポーツに打ち込む機会を増やしてほしい。
- ・ 何らかの理由で高校を退学させられたり、健康や金銭的理由で高校へ通いされない若者に対して、市や市民の寄付などで、学習支援して高卒の資格取得をさせることが大切。生涯学習もその辺りが出発点になる。それを 50 年以上続ければ「人づくり」の西尾市になる。
- ・ 中央のトイレにウォシュレットをつけて頂くとありがたいです。中央にエレベーターをつけるのは無理でしょうか？ひざが痛くて階段が少しつらい気がします。碁・将棋の講座が有ると受講させて頂きたいです。この、コロナで大変でしょうに講座を開いて下さいまして、ありがとうございました。
- ・ 小さい子供を持つ世代や動ける人たち(働いて行動)の生涯学習の場は多くなっていると思うが、小中高生や先輩の人達が行く場所が減り、その人達が集まりやすく、使いやすい物を考えて欲しい
- ・ 子どもからお年寄まで年代にかかわらず、世代間の交流(例えばお料理教室・手芸・ボッチャ・ゲートボール etc)がはかれる講座や活動があると良いのでは!! パソコンやスマホなら子どもが高齢者をサポートして互いに学びあえるのではないのでしょうか
- ・ 小学生を対象とした講座を増やしてほしい。(スポーツや趣味的なもの) 子供だけで通うことができる近場の施設ならなお良い。
- ・ 令和 3 年 11 月に中央ふれあいセンターでのソバ打講座が終了し、12 月以降、サークルとして継続しております。初めてのソバ打ち体験で非常に楽しく、同好会として続いていることがさらに自分を未知の世界へ導いてくれるようで、ワクワクし、この先も楽しみです。新しい事に今後もチャレンジしたいので、市政の許す範囲で講座をラインアップして下さい。
- ・ 子育て世代の孤立を防ぐ為のみんなで体を動かしたり心が明るくなる様な講座 ・高齢者・小さな子供連れのみんなが一緒に集える講座や自由に来られる場所 ・西尾の良さをもっと知る、広める講座 西尾をもっと盛り立てていきたい
- ・ ・支出が多くてもいいから中身の充実した催し ・多方面(天気の見方、花めぐりで名前を覚える、季節の行事)の学習
- ・ もっと生涯学習の場を広げてほしい。

公共施設

- ・ 会社員では、週休 1 日又は 2 日しかないため施設を利用できる機会はほとんどないと思います(子育て、買い物、レジャー等つぶれ、予約を取ったとしても、行けるか分からないため利用しない)西尾市では車を持っている人が多いため、距離は遠くなくても、小規模な施設は廃止して、大きい所でまとめても良いかと思います。
- ・ 利用施設が、一部の人達が、予約で、他の人が、利用できないのは、おかしいと思う。予約がしたくても、予約しに行くともう、うまっていて、いつも利用できなかった。
- ・ 今ある施設を十分に活用することをよいアイデアをもっている若者から壮年期の方に聞いて意見を反映するとよいのでしょうか。
- ・ 地域の公民館やふれあいセンターなどでの活動をふやしていったらどうか。地元の人が集うことになれば、高齢者の安否確認(少し大袈裟ですが…)のようなことも一緒にできるのではないのでしょうか？
- ・ 生涯学習施設を利用した事が、ないので。はっきりわかりませんが、年齢に関係ない施設を考え作ってほしいです。又それらの施設にする為に必要であれば 1 つ 1 つリフォームという型で地域にあった施設を考え作って下さい。なかなか全年令に出来る事はむずかしいとは思いますが宜しくお願いします。私も今後、きっかけがあれば参加したいと思います。以上
- ・ どうしてもサークルを作り、施設利用するにあたり、予約がとりにくくなっています。今後、さらに問題となると思われます。現在、施設の老朽化にともなり、費用もかかるため、検討していかなければならないかと思いますが、利用料の値上げ、施設撤去はどうかと思います。施設の増設はまず難しいことのようにですが、しかし利用場所は増やすべきかと思います。1 つの案ですが、大手企業に施設の開放、援助してもらえたらと思います。問題が多く大変なことと思いますが市民の声を取上げ、住みよい西尾市になりますよう、願っております。どうか、よろしく願いいたします。<Y.K>
- ・ (2) 生涯学習は「生きがい」みつけ生きる楽しみを見つけ、より充実した人生を送るため、様々なカルチャーセンター的な講座の開設と、そのための施設の充実を望む。今後 超高齢化社会に向け、市民のニーズに応えた施設の充実を図ってほしい。
- ・ ・施設の利用申込や生涯学習への申込みの方法がインターネット上から出来ると便利だと思う
・利用申し込みが施設や施設の担当者によって違うと感ずることがあったので、市の施設であれば一律であるべきだと思います。
- ・ 図書館の民営化には大反対
- ・ 現時点では個人的に余裕がなく、西尾市の生涯学習にはあまり興味がありません。しかし将来的には住みやすい西尾市であってほしいので色々な施設の充実や運営等、市民にあまり負担の無い様な税金の使い方だとか考えて頂き、西尾市の良さも残しつつ、近未来的な町になって欲しいです。
- ・ 市が 1 市 3 町を新西尾が出来てから、3 町にある公共施設を閉じる街が多く、年を取ると旧西尾市の中心にかたまっている施設には通いにくく、どうしても市制からは遠ざかってしまうので、施設に通う足を見直して欲しい。
- ・ ①総合体育館の 1,1 単位 2 時間 2,個人利用は 1 日 1 回限りという制限がとても不便である。他の利用者がいない、少ないなどの場合、個人の連続利用を認めるべきである。
- ・ ②西尾市の公共施設はコロナ対策のためとはいえ利用制限がかかるのが早すぎる。公共施設利用者からクラスターが発生しているわけではないなら、健康増進のためにも他の自治体なみにすべきである。
- ・ PC やタブレットを利用して勉強している身としては西尾市は wifi 完備やコンセント USB 完備の施設が少ないので外で勉強したいときに場所に困ります。(家に子供がいて外でしか基本勉強しないので…)(できない)若者向けの設備が整った施設があると嬉しいです。

- ・ 市民の要望が反映されることが一番重要だと思う。施設が多くあっても充分にいかされていないように感じる。図書館で行われる講座を利用していますが、図書館でしかできないことを行っているのかもしれないが、もっと楽しい内容を増やしてもいいのでは。図書館=本・読書ということにとらわれすぎているように感じる。利用者が参加したいと思う講座にしてほしいと思う。バリアフリーは大切だと思う。エレベーターは今どきないと施設としてどうかと思う。
- ・ 私は施設の対応届が事務的で机におかたすわっていただければいいのかなと思います
- ・ 図書館ももっと充実するといいです
- ・ 私し、身障者ですか花の木に 1ヶ所ある事は知っていますが、余り利用した事ないのに意件は言えませんが、15年前までは色々楽しい事ありましたが、近年はひっそりとしていますね。利用者が少ないですかね。
- ・ 株式・不動産個人投資家の八木エミリーさんのような、西尾市出身で、西尾市の事を将来的に考えている方の考え方、思想などに触れ地元愛を持ち続ける若者が増えるように講演会等を企画して欲しい
- ・ ふれあいセンター 公民館等の公の施設を利用したことはありません。今一步敷居高い様な自分の出来ることを日々コツコツとしています
- ・ 施設の利用者 35% 利用者の負担が運営費の 7.5%であれば施設の統合をすべき。(利用者のほとんどは車を利用しており多少遠くても行くことが出来ると思う)
- ・ 新しく建築するのではなく、現在使ってなくて、そのままになっている建物をなるべく費用をかけずに利用し、利用者が多くなってきたら、新築を考えて行くのが、無駄にならないのでは？
- ・ 施設の統廃合は住民の利便性を考慮して進めて欲しい。

情報の提供

- ・ 子ども食堂や大人食堂など、地域で役立ちたいけどどうやったらいいのか分からない人っていると思います。
- ・ 生涯学習については、よくわかりませんでした。私、個人は、どこのふれあいセンターが何を、やっているのか、わかりませんでしたし、何で調べるのか？よくわかりません。市の方も、もっとわかりやすく、市民に PR すべきでしょう。市民に興味を、もってもらえる学習内容のものが欲しいですね
- ・ もっとわかりやすく、利用しやすい、環境にあると、良いと思う
- ・ 形にはまらず、様々な講師を捜し、楽しく、思いがけない様なものにしていただきました。講師の推薦制度、情報収集に勧めて欲しい。
- ・ 今後高齢化が進むと、日々の生活をどうやって過ごすかという時間が増えると思います。その中で自分に関わることができるものやコミュニティにどんな場所・仲間がいるのか、まずは知ることだと思います。せっかく用意されているものがあるとしても、その存在を知らされていなければ意味がありません。その情報をまずは知ること。「知ろう」より「知らされる」方を人は選ぶと思います。まずは広く展開を。
- ・ 生涯学習をこんな形で行っておりますよ、と知らせる情報をもっと欲しい。近くの方で「これやりたいんだけど、どこを探せば良いのか分からない。」とか明確な宣伝紙がないので、迷っている様子の人もいた。
- ・ 生涯学習という言葉は知っていましたが具体的なことはまったく知りません、もっと PR して下さい。それと金銭面ではまったく余裕がない人でも気楽にできるものもいいです。
- ・ どこで何がおこなわれているかわからない人がいると思います ・利用したいと思いますがいま一步進まない事があります ・なにか〈みりよく〉てきなことがあるといいと思います
- ・ 将来に向けて、生涯学習が必要な事をまず認識してもらおう事が大事。老人になる前に手を打つ事。

- ・ 参加し辛い理由 ・常連メンバー、グループ参加の中へ個人が入りにくい ・個人が気軽に参加できるかわからない ・積極的な仲間作りを求めているので、個人で学びたい ・どんな内容の学習が有るかかわからない 無趣味の中高年は多いと思う 初心者が気軽に参加できる機会が有るとうれしい 今まで広報をしっかりと見ていなかったが、生涯学習の情報が載っているならば自分に合うものが有るか知りたかった 情報を「広報にしお」に載せてほしい
- ・ 生涯学習での情報が入手不足の為、もう少し、詳しく情報が欲しい!
- ・ 誰でも解りやすく、気軽に利用出来るような呼びかけ(説明等)があると嬉しいです。
- ・ 認知度を上げる工夫が必要
- ・ 学習講座に参加されているメンバーがいつも同じ。もっと幅広く市民に参加を呼び掛けるようなしくみが必要だと思う。不公平感があってはならないと思う。参加費用ももう少し上げてほしいと思う。・民間のカルチャーセンターなどが市内には少なく、企業誘致を積極的に進めて欲しい。・市役所や社会福祉協議会その他(げんきプラザ、ホワイトウェーブ)がそれぞれ同じような講座が開かれていることも多々あり募集窓口をひとつにした方が効率的だと思う。また募集する媒体も毎回ある程度同じところに掲載されるようにしてほしい。・学習生涯の必要性をもっとアピールしていくべき。例えばサークルや同好会の発表の場を設ける。紹介の冊子などの作成(YouTube等利用)するなど。・同好会やサークルの運営のアドバイスやサポートを市は積極的に行う。
- ・ 生涯学習の内容を知らない市民がたくさんいる。生涯学習の内容をもっと市民にアピールする機会を増やしてほしい
- ・ 学習講座に参加して充実した内容で満足して岐路につけることを望みます
- ・ 何をいつどこでしているのかよく分からない

高齢化

- ・ 退職後に、生涯学習に参加しました。長寿課主催のボランティア活動(お年よりのふれあい教室)、公民館での英語の講座、私的な仲間とのウォーキングなどです。大人の英語講座の数は少なくなり、今はウォーキングのみ参加学びの館での本の利用を行っています。10年近く続けていますが、今一つ何か物足りないなあと思うこの頃です。コロナのこともありますが、まだまだ、やりたいことがあります。毎月の広報、文化の森の知らせを見て、いろいろ考えています。ぜひ力を入れてください。
- ・ 改めてもう一度書きます 私は退職と同時に永年やりたかったことをはじめました 1,パン作り 2,スポーツ(民間) 1,パン作りは半年たった時点で希望者でサークル活動しました 角谷先生は私達以上に熱心で1カ月が待ちどおしいサークルです 10年間仲間は変わってもサークルは続いています 2,スポーツ(民間)健康と技の進歩 エアロビクス、etc 楽しくてしかたないです 施設や運営の問題は大きいとは思いますが仲間がいる、心体の健康に役に立つ。楽しいから今日も行くこういうことが生涯求め続けられる原動力なのではないですか
- ・ 高齢者が家にこもるのではなく、できるだけ外に出て学べる場を設定してほしい。それが認知症予防や健康管理につながり介護費等をおさえることができると思う。生涯学習諸施設の職員は暇な時には「どうすれば市民に気持ちよく使ってもらえるか」を常に考え、新しいアイデアで運営していただきたい。決められて仕事を機械的にしているだけでは、市民の気運も盛り上がらない。PRにも努めていただきたい。
- ・ 今後、益々の少子高齢化社会を見すえ、全世代に学習が人生にいかにか大切であるかを実感し、興味関心を持たせる。上記2が重要である。
- ・ 高齢者がさんぽで行ける近くで会場があるといいなと思います。
- ・ 成人、停年退職する人に生涯学習の説明会の実施。経験者に、経験談を話してもらう。
- ・ 高齢者が利用しやすい講座、ボランティアを充実してほしいです。

- ・ 高齢者がもっと参加できるようなメニューを増やして欲しい。(認知症、ねたきり予防のため)
- ・ 高齢者の健康寿命を延ばす為の講座 ・高齢者・小さな子供連れのみんが一緒に集える講座や自由に来られる場所 ・西尾の良さをもっと知る、広める講座 西尾をもっと盛り立てていきたい

スポーツ施設

- ・ (1) 健康社会の実現
「人生 100 年時代」と叫ばれて久しい。市民が豊かな生活を享受するには、心身の健康第一。そのために幼児～高齢者まで幅広い市民層が気軽に利用できる運動施設、公園、グラウンド、芝生広場等の設備充実が不可欠
- ・ 一色町公民館 3 階多目的ホールを今利用して太極拳を行っていますが利用が重なったりしている旧一色町役場、一色青少年ホームを利用したいと思う。又一色高校和太鼓部がわざわざ一色中学体育館を利用しているが女子の場合暗くなり危ないので前に利用していた青少年ホームや旧役場を利用したら良いと思う。あのままでは一色町役場や青少年ホームもたいたいと思う
- ・ 参加場所も西尾市均等にもう少し増やすなどしてほしい。独身者や、30～50 歳代などもやってみたい講座なども増やしてほしい。もう少し気楽に運動できる施設や公園があるといい。広報に入ってくる講座案内、スポーツクラブなど、入っていない地域もあるので入れてみてはどうか。
- ・ PC やタブレットを利用して勉強している身としては西尾市は wifi 完備やコンセント USB 完備の施設が少ないので外で勉強したいときに場所に困ります。(家に子供がいて外でしか基本勉強しないので…)(できない)若者向けの設備が整った施設があると嬉しいです。
- ・ 碧南市のような、公園、グラウンド、大きな公園等が西尾市には少ないと思う。ジョギングや運動ができる場所、環境が増えるといいです。
- ・ 「生涯学習」は、個人個人、その考え方やそれぞれのやり方は様々ありますが、「生涯学習」をする上で、誰しも共通する、大事な事は、健康であり、身体共に健全である事が基本だと思います。このアンケートを書き終えて、投函する前日に、中日新聞 2 月 5 日(土)の西三河版で、「一色町役場跡にプール検討」の記事がありました。是こそ、私が望んでいる事で、是非とも実現して頂きたい施設です。そして、その設備内容に、健康維持に繋がる、定番の人間ドック(保健センターで実施している)の検査項目以外の”各種の検査”をして、自己管理をして、日々健康体を維持して、生涯学習を楽しみたいと思っております。
- ・ キャンプ場、アウトドア施設の充実
- ・ もっとスポーツをできる環境を整えて欲しいです。西尾市全体がスポーツが弱いです。西尾で頑張ろうと思う子どもが少ないのが現状、選手もコーチも他の地域に行くので、もっと力を入れて欲しい。

交通環境

- ・ 高齢化がこれから進中で、高齢でも気軽に学びに行ける距離(範囲)での施設設置が必要になるのではと思います。
- ・ 西尾市内の移動にはマイカーが欠かせません。でも高齢になればなるほど車での移動には危険が増してきます。なので地元の公民館やふれあいセンターなどでの活動をふやしていったらどうか。
- ・ コンパクトシティを目指してもいいと思います。
- ・ 現状は車で移動することができるので、近くに公共施設がなくてもあまり気になりませんが、この先年をとって車の運転ができなくなった時身近にそういう施設がなく利用したくても出来ないと思うと残念で、生涯学習って…?年をとってしまうとあきらめるしかないのですか?と考えてし

まいりました。

- ・ 合併後は旧西尾市ばかり発展していきっているように思います。市役所を中心としていて、旧幡豆郡に住んでいる私は車以外に費用をおさえた移動手段がなく、現西尾市のわからない地域のことがたくさんあります。できれば時間やお金のある方たちだけでなく、西尾市の端っこに細々と住んでいる私達も西尾市全体を知っていただけたらうれしいです。どんどん外出できて引きこもりから解放される日常に期待しています。
- ・ 私は14年前に公民館講座でフラダンスを習いました。その時は島の渡船場が前の場所だったのでくるまのれなかったけど公民館に行けました。新しい渡船場が変わってからは車がのれないので、習い事はしていません。なかなか島だと車にのれないと不便です
- ・ くるりんバス等、足が必要。

スポーツ活動

- ・ 小学生の体力不足を補うスポーツ応援教室やダンス教室
- ・ 生涯学習を考えた事もありましたが、仕事をしていると、夜の時間が休みしか時間がなく、なかなか、考える事が出来ません。プールに行きたかったのですが平日は、終わるのが早く、出来ませんでした。休みの日に時間が合えばやりたいですけど、なかなかむずかしそうですね。少しずつでも、進んでいくと良いと思います。
- ・ 生涯学習と関係ないかもしれませんが、総合体育館と中央体育館の両館のトレーニング室の共通定期券が、なぜできないのですか？(スポーツの市ですよ)両館とも同じ委託業者ですよ。
- ・ 生涯学習課の管轄ではないかも知れませんが今市内で屋内スポーツをやる場所が少なく体育館予約も大変です。そこで学校開放で夜間使用できるんですが種目に寄ってできない小学校等もあるので一度見直し検討して欲しいです。※新しいアリーナ建設が速く進む事を願います。

ボランティア活動

- ・ ボランティアの人を募集し取り組む同好会をすすめてほしい。
- ・ 例えば犯罪を犯した、妊娠した等で退学させられた子たちに学問、勉強をみてあげる組織やボランティアを作ったら、その子たちの子孫まで豊かになる。それができなければ子孫まで代々貧しくなったり不良化したり、低収入にあえぐことになる。100年先のことを考えてほしい。そういう子たちの子孫の中から西尾市のリーダーが生まれるかもしれない…としんじてほしい
- ・ 防災マイクでボランティアの募集をしてみても良いと思います。全く興味が無かった方々でもボランティアの種類、内容を知ることが出来ると思います。更に好奇心で参加したくなるかもしれません。
- ・ 市の職員をつかわずボランティアでやり、個人個人が負担して生涯学習をやるべきだと思います。

地域人材の育成

- ・ 現役世代を終えても元気な方が活躍できることと、現役で働いている方が人手がなくて困っているのを、手助けして欲しい人を助けたいことがマッチングして例えばボランティアをつなげるための生涯学習があると良い。
- ・ うもれている人材を活用し？ 2~3時間やる、出章印でも作って楽しくやる。

つながりづくり

- ・ (3)人との交流
(1)と(2)を推進することによって、人との交流、コミュニケーションが図られ、より豊かな人生が送れる。

学習成果の活用

- ・ 生涯学習を充実させたらどんなメリットが西尾市にあるのか？を明確にしてほしいです。他の地域で成功していること特別に優れているところなどありましたら具体的に教えてほしいです。

その他

- ・ お金と時間があれば色々やってみたい…
- ・ 西尾市民が何を考え(生涯学習も含み)何が問題なのか家族ごと(戸別)にアンケートをとり人生100年時代より良い西尾を市民みんなで考え楽しい思い出の作れる街にしたいです。赤子から年寄りまで皆さん仲良く平和でありたい夢を実現に!!西尾市を背負ってる〇〇の方は責任が重く大変でしょうがよろしくお願いします
- ・ 活動内容を積極的にPRしていくこと。又、内容を充実させ魅力あるものに改善していくこと。
- ・ 日々の御努力に感謝、ご苦勞されてる事とは推察します。要望等は多種にわたり、何をどの様にするか。まとめ議案するには、大変です。ご苦勞さまです。いくら良い物、機械等作成してもそれを運営、まわすのは、人です。警察と泥棒さんは、同じ方向へ向かっています。何が違うのか、おつかしいです。今まで会社人間で色々、ありましたが、何とかさす事ができ、たいした事は何一つ出来ていませんが、わかった事が1つあります。それは、健康が一番だった事です。体が丈夫で今までさすせました。69才になりますが、事故で死にかけた。手術して入院しました(3ヶ月)が…余分な事を書きましたが、生涯学習とは、何か?「健康で、五体満足で愛する家族の元へ無事に帰る」この上に成り立つもので日々の御努力に感謝しています。頑張るって業務に精力的に取り組んでいただきたいです。いつもありがとう!!
- ・ 私の場合は人を信用してしまう事人間をうたがわないこまった人間です本当は隣もふくめて考えてみた事です。
- ・ 利用者の目で利用しやすい環境やサークルグループに支援する生涯学習への取り組みをお願いします。
- ・ 企業や同好会、サークル等と連携せず市独自で運営すべきである。
- ・ 忙しく暮して来たので、人とのかわりはあまりしたくない。
- ・ 案がある訳ではないのに、エラそうな事を言うかもしれないかもしれませんが、例えばあいちこどもの国のさびれ具合に少し驚いてしまったのですが、せつかくあの様なステキな施設があるのにもったい無いと言いますか…。もう少し、企業や企画を得意としている団体の力をかりて盛り上げていただいて、平日でも(いつ行っても)楽しめる場所になると良いと思います。今回のアンケートとそれとすまません。
- ・ 生涯学修と言う問題のアンケートが送られて来たが今の私の年令になるとほとんど、学修事と思いつかない、家の中でさす事が多く、何かできる事があればと思うのだが、すぐ登中でやめてしまう、さそわれて、その時は良い返事をするが、当日に、なると、今日わやめた、というぐあいである 自分の考えとしてわ、今までどうりが良いと思う。
- ・ 「生涯学習」耳にした事はありますが、子供も手が離れ、働いている為今まで特に気にした事もありませんでした。今回このアンケートに答えた事で、今後意識するきっかけになると思いました。
- ・ さらに推進する必要も私はないと思います。人生死んで行くまですべてのことが学習だと私は思っております。
- ・ 西尾マラソンに参加予定ですがコロナ禍で無理ですかね?
- ・ 文化協会の活動に補助金を増額して文化協会を通じて活性化を図っていく。
- ・ 私は旧三町なのですが、合併していいことひとつもない ・まず職員の人数を減らすこと ・労組の解体をすすめる 以上二点は生涯学習とは関係ないが

- ・ 生涯学習とは自分で考え、自分で実行するものであると考えるので公共は余分なお世話である。
- ・ 月曜日、お願いしたい。
- ・ アンケートがよく分かりませんでした。文字が多くて読むのがめんどくさい
- ・ 豊田、刈谷、東浦、碧南など豊富な資源があり全く同じとするのは無理と思うが、彼等の何分の1で構わないので実行して下さい。
- ・ 2000名という大規模なアンケートを実施され、現在の市民のリアルなニーズを把握され、それを基に今後の西尾市の生涯学習のあり方、計画を考えようという試み、真摯な取り組みに敬意を表します。私自身は生涯学習を続けたいと考えています。学生や社会人としてフルタイムで働いていた時は、学校や職場での研修があります。一番よく地域の施設を利用したのは、子供が幼児の子育て時期と退職し、時間に余裕が持てるようになってからです。学習機会の少なかりがちな世代を対象とした生涯学習を充実させていただくのが良いのではないかと個人的には思います。意見を聴いていただきありがとうございます。
- ・ 市の公報放送のスピーカが聞きづらいです。
- ・ 市民の意見をきく。その中で、多かった意見を取り入れる。
- ・ 会社経営者たちが会社の貯金をしすぎているため、経営者たちに貯金をつかっていただくか、社員の給料を上げて、お金をまわし、経済を動かせばいい。
- ・ 若い人達の意見を聞いてほしい ・古い人達(60才以上)は智恵をかしてほしい ・西尾市はもっと柔軟になったほうがよい ・西尾市はかたい 新しいものを取り入れるのが遅い ・生涯学習という名称がかたい
- ・ 1.現在の新型コロナ被りで此のアンケートはとてもむづかしい 1.回答欄が多過ぎる 1.出来るだけ現状維持で費用等かけず少し様子を見る 西尾市の福祉変令表対策が学習に締でつく 今後このアンケートを大いに利用されたい、生涯私はおつきあいしたい、ありがとう感謝!
- ・ 岡崎市図書館リブラ、安城市図書館アンフォーレに行きます。岡崎のリブラは散策もできて、とても気に入っています。刈谷市総合文化センターでのクラシックコンサートや音楽劇、幸田町民会館でのワンコインコンサートも行きます。今は運転して行けませんが、身近に定期公演があれば、嬉しいです。自分の好きなことばかり書いてすみません。
- ・ 特にありませんが、合併以後一色は活力がありません。それが合併の目的だったのですね。
- ・ 読書のみ他のことには興味がありません(もうしわけありません) 気をつかわなければならないのならやりたくは、ないです
- ・ 生涯学習というネーミングを変えてはどうか?ポジティブな楽しい、キッピーネーミングが良い。活気のある参考事例から学ぶ。・武蔵野プレイス ・南池袋公園 ・MIYASHITA PARK ・アネルフットパークさいたま与野 ・新豊洲 Brillia 若者の主体性・活力を活かすことが市を盛り上げる。